

西郷村 橋梁長寿命化修繕計画



紅葉大橋

令和5年3月

福島県西白河郡西郷村

— 目 次 —

I. 様式1-1

※（ ）は「道路メンテナンス事業補助制度」
における補助要件

1. 長寿命化修繕計画の目的 1 2. 長寿命化修繕計画の対象橋梁 3 3. 健全度の把握及び日常的な 維持管理に関する基本方針 6 （・老朽化対策における基本方針） （・新技術等の活用方針） 4. 対象橋梁の長寿命化及び修繕・架替え に係る費用の縮減に関する基本的な方針 8 （・費用の縮減に関する具体的な方針） 5. 対象橋梁ごとの概ねの次回点検時期 及び修繕内容・時期又は架替え時期 17 （・構造物の諸元・直近の点検結果及び次回点検年度） （・対策内容・対策の着手、完了予定年度） （・対策に係る全体概算事業費） 6. 長寿命化修繕計画による効果 17 7. 計画策定担当部署及び意見聴取した 学識経験者等の専門知識を有する者 18	—国土交通省— インフラ長寿命化 基本計画における記載事項 1. 対象施設 2. 計画期間 3. 対策の優先順位の考え方 4. 個別施設の状態等 5. 対策内容と実施時期 6. 対策費用
---	--

II. 様式1-2

対象橋梁ごとの概ねの次回点検年度
及び対策内容・着手時期又は架替え時期

III. 優先順位一覧表

1. 長寿命化修繕計画の目的

1) 西郷村の現状

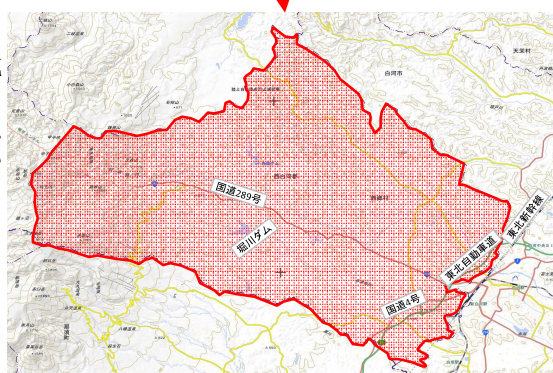
福島県中通り南部に位置する西郷村は、人口20,891人（2023年1月現在）面積192.06km²の村で、村内に源を発する阿武隈川とその支流が中央部を貫流しています。村の東部は新白河駅周辺に白河市と一体となった都市部、役場を中心に集落や新興住宅地が形成される田園地帯の中部、そして自然豊かな西側の山間部に大別され、住民の生活圏の標高は概ね400～600mとなっています。

村内には東北新幹線の停車する新白河駅や、東北自動車道の白河ICが設置されており、関東圏へのアクセスの利便性を生かして、大型企業が多数誘致されています。

村には国道4号、国道289号のほか5本の県道が通っており、総延長360.6kmの村道は国道及び県道へアクセスする生活道路のほか農耕用の道路、及び大型企業の流通経路の一部として利用されています。

村道にかかる橋梁は116橋ありますが、JR東北本線や東北自動車道を跨ぐ重要度の高い橋梁2橋を有していることや、堀川ダム上流に架かる100m以上の長大橋1橋を有していることが特徴となっているほか、5m未満の床版橋やボックスカルバートが管理橋梁の約半数を占めていることなどが特徴となっています。

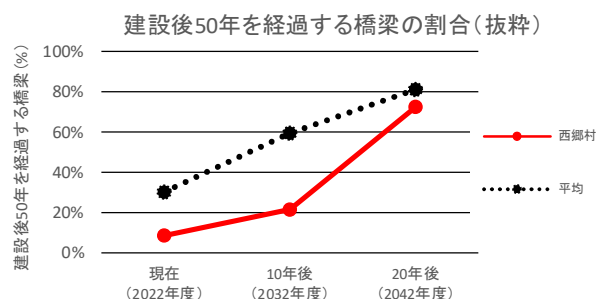
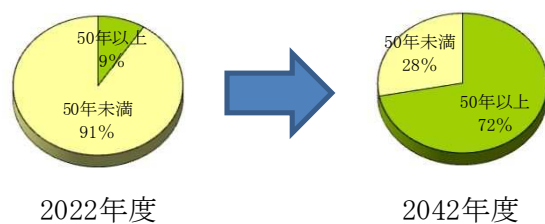
福島県内市町村位置図



2) 背景

西郷村の管理する橋梁116橋の中で、2022年時点で建設後50年以上を経過する橋梁は全体の約9%ですが、10年後の2029年には22%、20年後の2039年には72%に急激に増加します。

これらの高齢化を迎える橋梁群に対して、従来の対症療法的な維持管理を続けた場合、橋梁の修繕・架け替えに要する費用が増大となることが懸念されます。

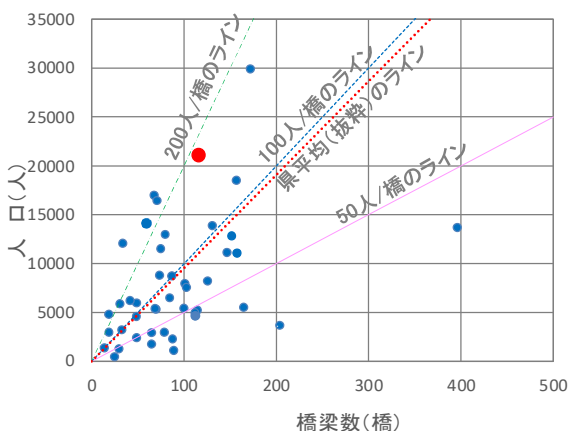


近隣町村との比較

町村名	面積 (km ²)	人口 (人)	人口密度 (人/km ²)	橋梁数 (橋)	橋梁の密度 (橋/km ²)	一橋当りの人口 (人/橋)
西郷村	192.06	21081	109.76	116	0.604	181.73
天栄村	225.52	5226	23.173	115	0.5099	45.443
矢吹町	60.4	16990	281.29	68	1.1258	249.85
泉崎村	35.43	5969	168.47	49	1.383	121.82

人口は2022年現在

福島県内市町村(抜粋)の人口と橋梁数の関係

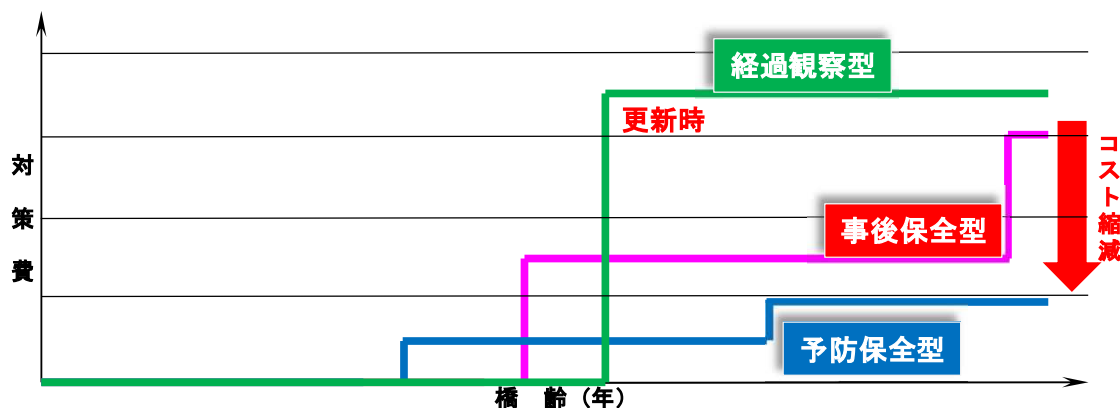
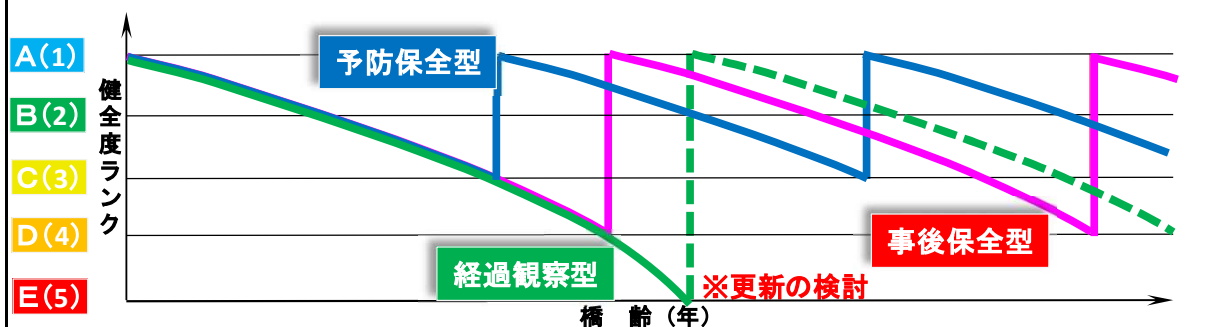


3) 目的

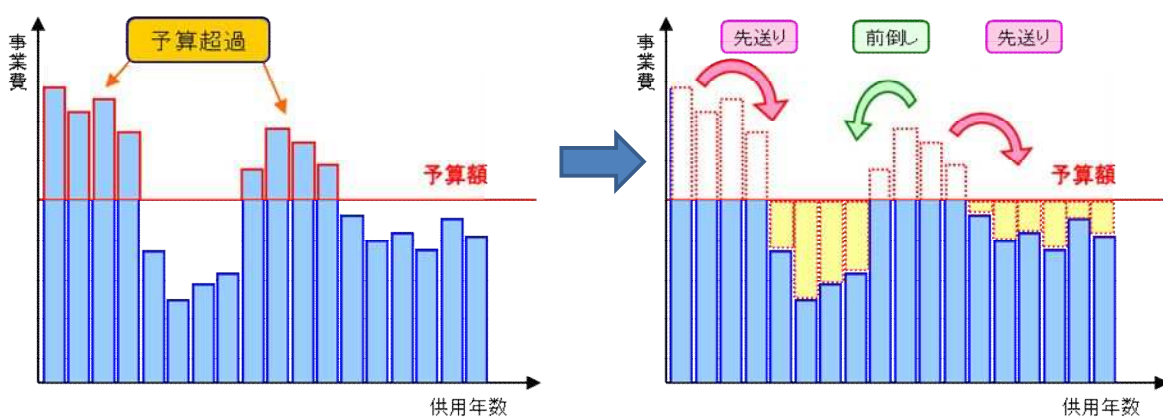
このような背景から、より計画的な橋梁の維持管理を行い、限られた財源の中で効率的に橋梁を維持していくための取り組みが不可欠となります。

将来にわたり橋梁を保全・維持するためには、費用のかかる架替えが一時期に集中しないように長寿命化修繕計画を策定して、財政負担を低減・平準化する必要があり、コスト削減のためには、従来の事後保全型（対症療法型）から、“損傷が大きくなる前に予防的な対策を行う”予防保全型へ転換を図り、橋梁の寿命を延ばす必要があります。

そこで西郷村では、将来的な財政負担の低減および道路交通の安全性の確保を図るために、橋梁長寿命化修繕計画を策定します。



対策シナリオのイメージ

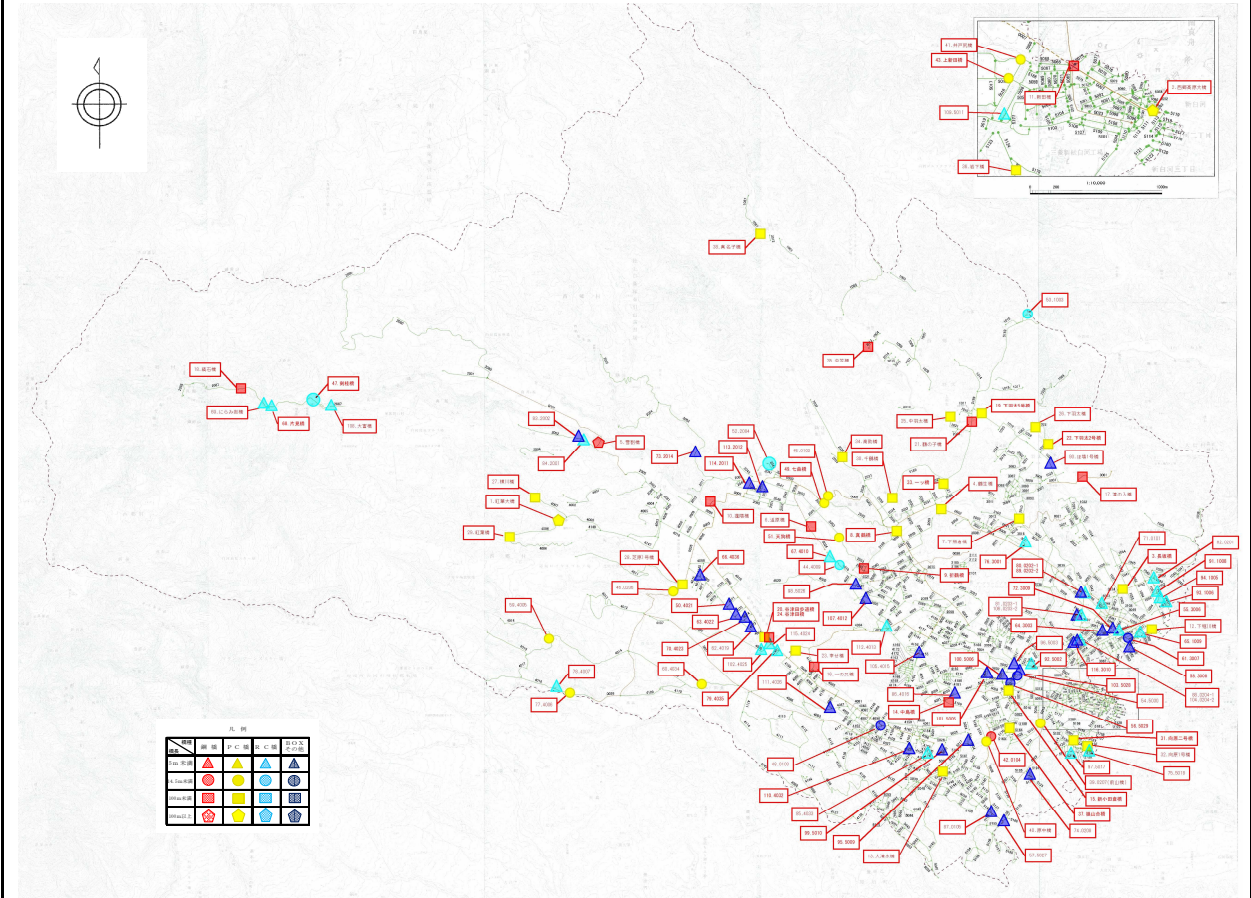


予算平準化のイメージ

2. 長寿命化修繕計画の対象橋梁
(対象施設)

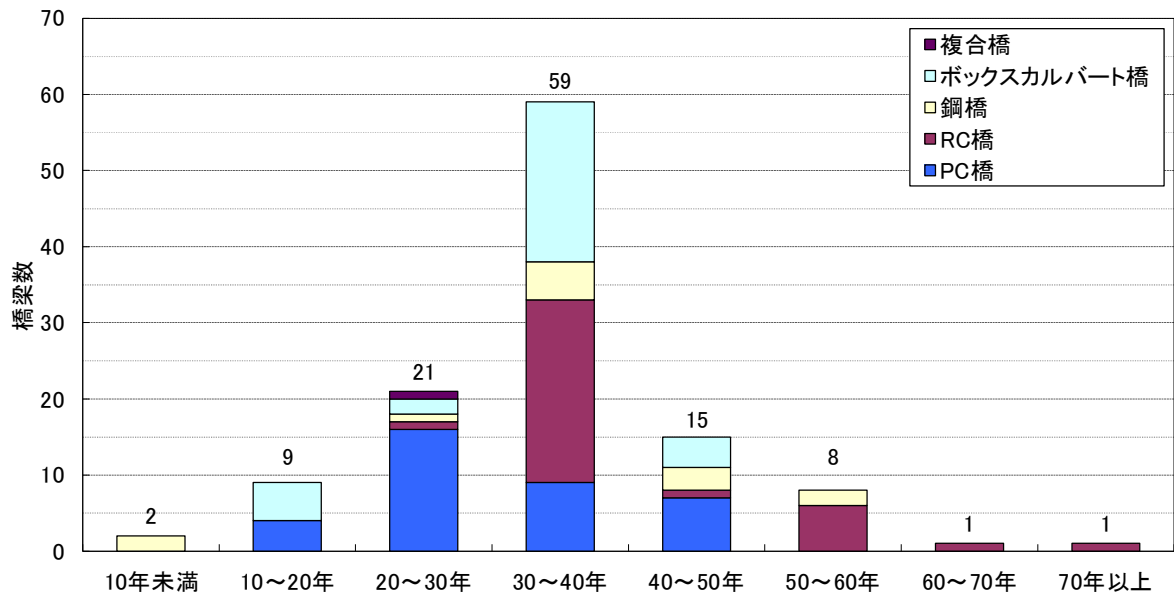
	村道 1級	村道 2級	村道 その他	合計
全管理橋梁数	14	15	87	116
うち計画の対象橋梁数	14	15	87	116
うちこれまでの計画策定橋梁数	14	14	87	115
うち2022年度計画策定・更新橋梁数	14	15	87	116

※長寿命化修繕計画の対象：西郷村が管理する橋長2.0m以上の橋梁116橋を対象とします。
(内、115橋：前回策定時からの更新 1橋：新規策定)



※括大地図は19ページ参照

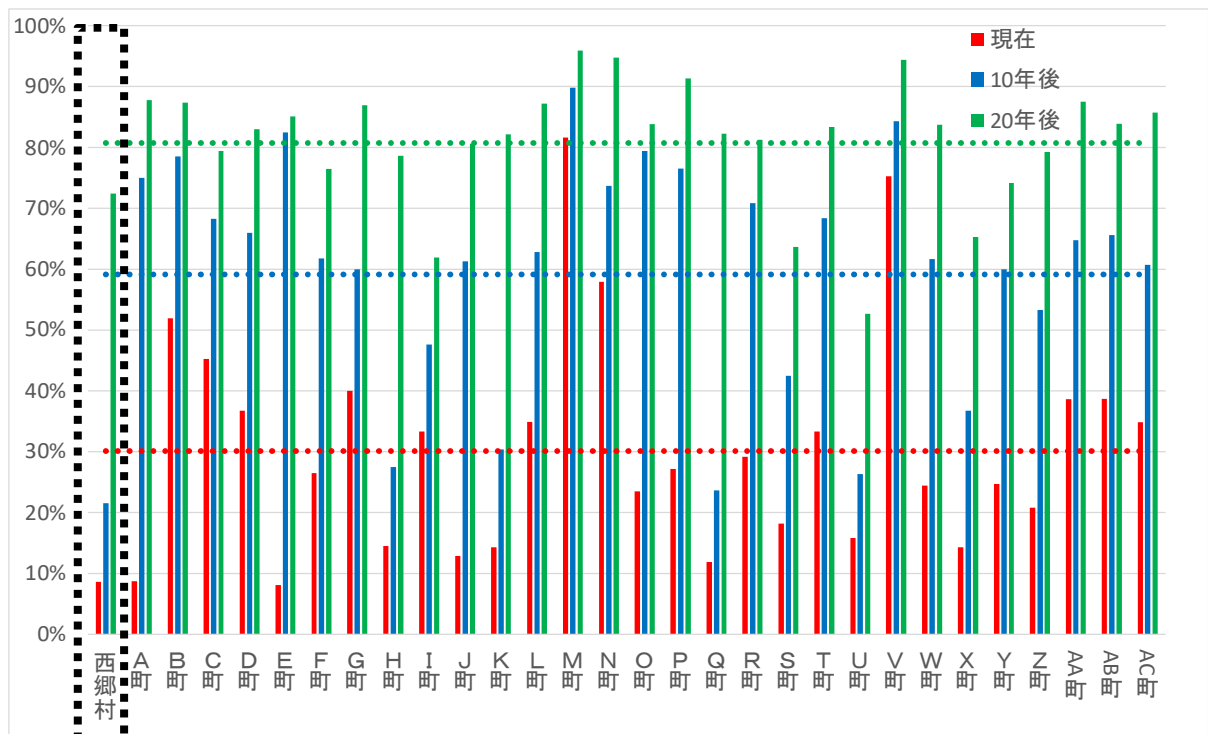
経過年数別橋梁数



経過年数別橋梁数

※長寿命化修繕計画で対象としている116橋のうち、建設後50年以上を経過している橋梁は10橋あり、全体の9%を占めています。10橋のうち、2橋は建設後60年以上を経過しています。

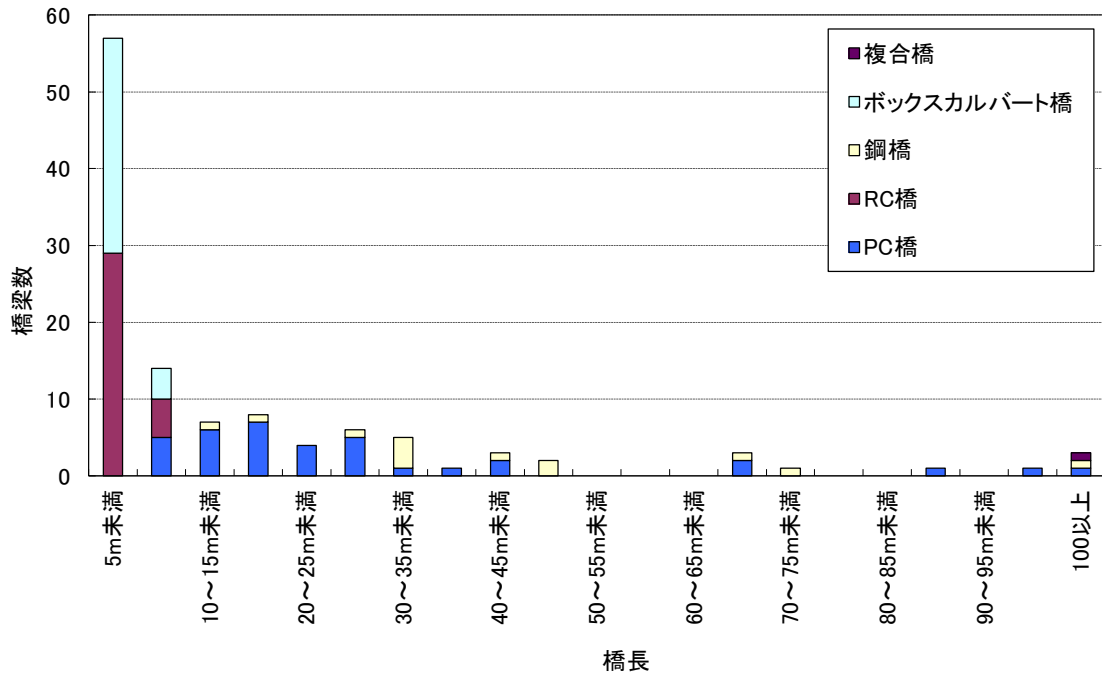
県内市町村（抜粋）の建設後50年以上を経過する橋梁の割合



※点線: 県内市町村の平均値

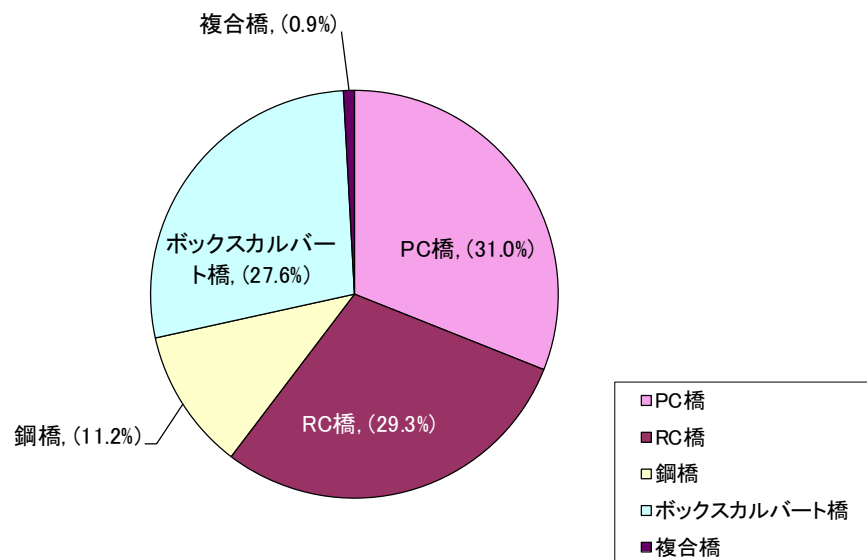
現在 (30%) 10年後 (59%) 20年後 (81%)

橋長別橋梁数



※長寿命化修繕計画で対象としている116橋のうち、15m以上の橋梁が38橋あり全体の33%を占めています。その内2橋は200m以上の長大橋となっています。

上部工使用材料別橋梁数の比率



※上部工使用材料別ではP C 橋が36橋で全体の約31%、R C 橋が34橋、ボックスカルバート橋が32橋でコンクリート橋が全体の88%を占めています。複合橋はP C T 桁橋+鋼箱桁橋が1橋です。

3. 健全度の把握及び日常的な維持管理に関する基本的な方針 (計画期間)

1) 健全度の把握の基本的な方針

(・老朽化対策における基本方針)

健全度の把握については、国土交通省道路局の「道路橋定期点検要領」（平成31年2月）に基づいて、専門技術者による5年に1回の定期点検及び健全性の診断や、必要に応じて行う詳細点検により、各部材の劣化や損傷の程度などを早期に把握します。

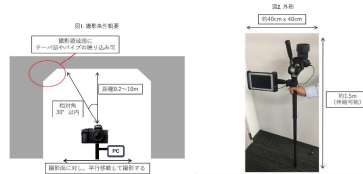
(・新技術等の活用方針)

定期点検における近接方法については、新技術情報提供システム（NETIS）や点検支援技術性能カタログなどを参考に、有用な新技術の活用を検討していきます。特に2巡目点検において、損傷が無しまたは軽微で、判定区分が「Ⅰ」となった床版橋や溝橋等の小スパン橋梁のうち、1橋程度について、3巡目点検時（令和6年度以降順次実施）に、画像解析・AI診断等の新技術の活用を目指し、検討していきます。

※検討する橋梁：1橋程度 実施予定年度：令和6年度～令和10年度（定期点検3巡目）
コスト削減効果（概算）：点検費用 7万円／橋程度縮減



ドローンによる桁下の点検



デジタルカメラによる溝橋の点検



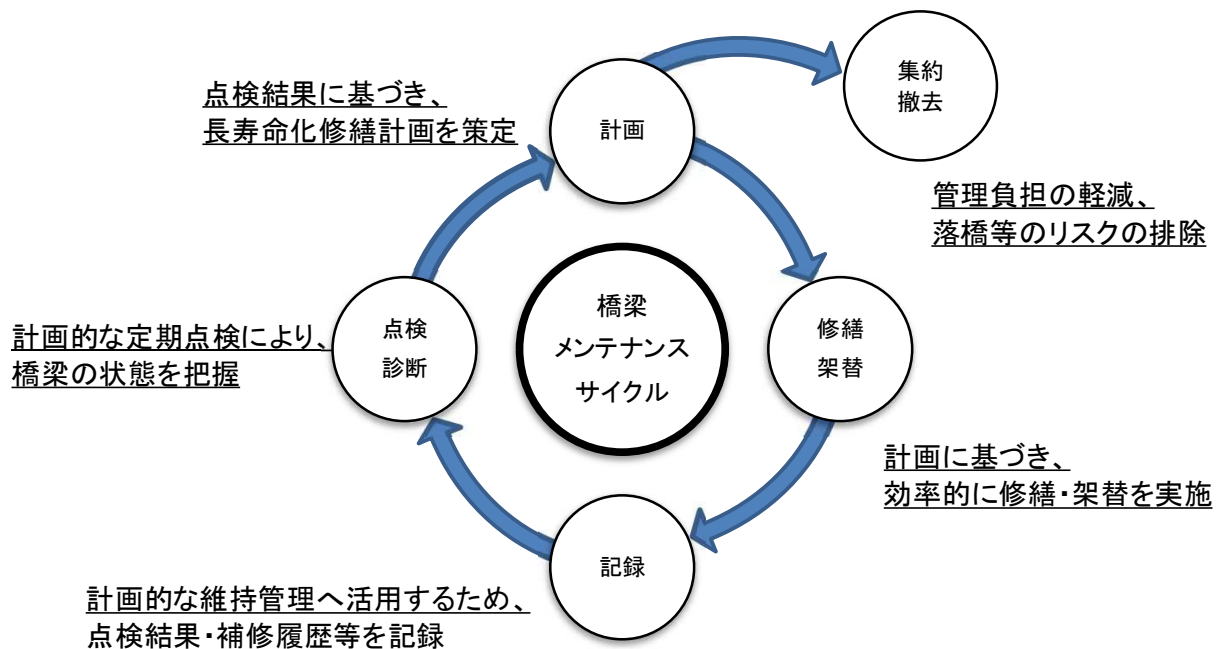
AI・画像診断

橋梁点検における新技術の活用例：（出典）国土交通省「点検支援技術性能カタログ」

2) 日常的な維持管理に関する基本的な方針

利用者の安全性の確保及び橋梁を良好な状態に保つために、道路作業員によるパトロールを実施し、排水桝清掃や舗装の軽微な補修等の日常的な維持管理を行います。

橋梁メンテナンスサイクル 概念図

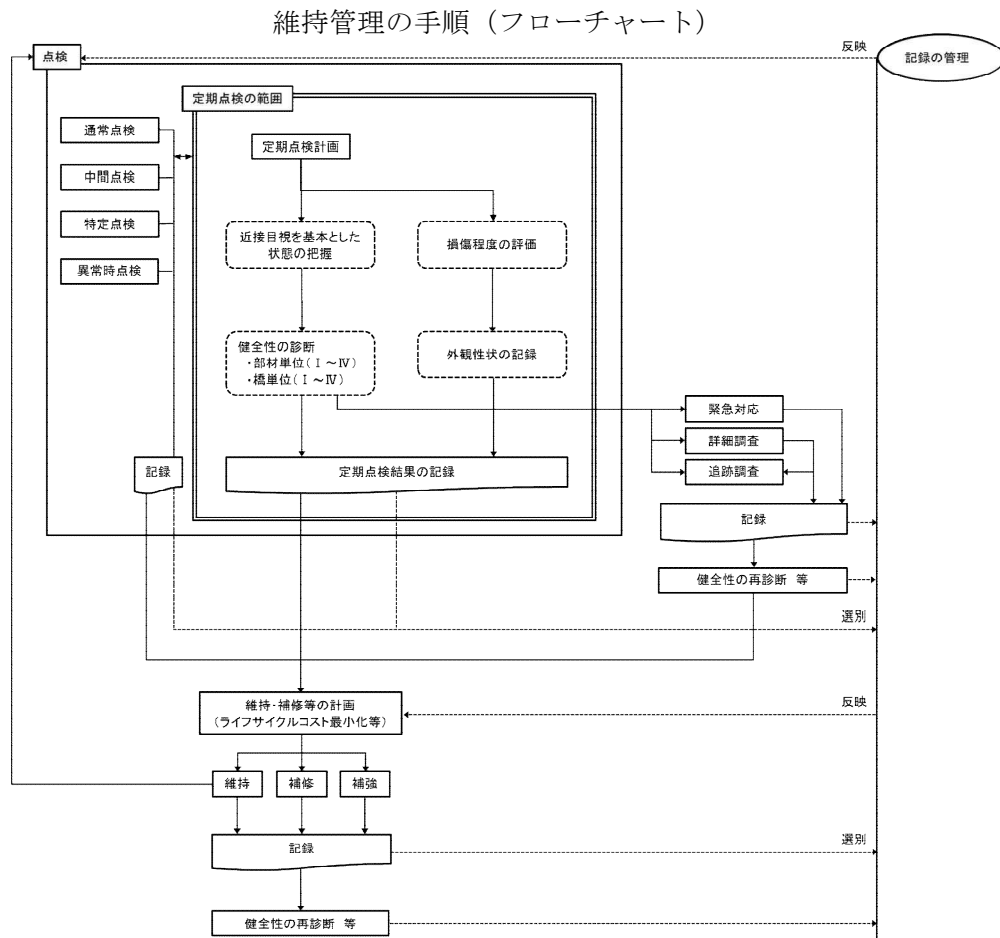


3) 計画期間

5年に1回の定期点検結果を基に中長期的な予測を行い、今後50年間の橋梁長寿命化修繕計画を策定します。（計画期間：2023年～2072年）

3. 健全度の把握及び日常的な維持管理に関する基本的な方針

参考：橋梁維持管理の基本的な考え方



出典：橋梁定期点検要領（国土交通省 道路局 国道・技術課、H31.3）を一部修正

点検の種類

通常点検	突発的に生じる不具合や損傷を早期に発見するために、高い頻度で行われる点検。日常巡回やパトロールと合わせて行ったり、巡回やパトロールそのものがこれを兼ねるものと位置づけられる場合もある。
定期点検	橋梁の損傷状況の把握及び健全性の診断をあらかじめ頻度を定めて計画的に実施する詳細な点検。全ての部材に近接して目視調査を行うことが基本であり、必要に応じて非破壊検査機器なども用いて必要な情報を得る。
中間点検	定期点検を補うために、定期点検の中間年に実施するもので、定期点検時に、次回の定期点検まで待たずに途中で状態確認を行うことが必要と判断された場合に計画される。
臨時点検	塩害やアルカリ骨材反応、鋼部材の疲労等の定期点検のみでは適切かつ十分な評価が困難な特定の事象に対して、定期点検とは別に、それぞれの事象に特化した内容によって行われる点検。
異常時点検	地震、台風、集中豪雨、豪雪等の災害や大きな事故が発生した場合などに、橋梁の状態を確認するために臨時で行われる点検。

4. 対象橋梁の長寿命化及び修繕・架替えに係る費用の縮減に関する基本的な方針
(対策の優先順位の考え方)

西郷村が管理する橋梁の中で、架設後30年以上を経過した橋梁は全体の72%を占めているため、近い将来一斉に架替時期を迎えることが予想されます。したがって、計画的かつ予防的な修繕対策の実施へと転換を図り、橋梁の寿命を100年とすることを目標とし、修繕及び架替えに要するコストを縮減します。

1) 管理区分の設定

修繕計画策定にあたり、橋梁の諸元情報（橋長や幅員等）や重要度を考慮した管理区分を橋梁毎に設定します。

管理区分の定義

管理区分	該当橋梁	補修時期	寿命	点検方法		簡易予防保全	
				日常巡回 ※2	橋梁点検 (1回/5年) ※3	橋面 洗浄	桁 洗浄
S	本格予防保全型 ・跨線橋 ・跨道橋 ・橋長100m以上 ・重要度(※1) 該当3つ	健全度ランクD(4)にしない	原則架替えは行わない	○	○	② ※4	②
A	予防保全型 重要度該当2つ	健全度ランクD(4)にしない	100年	○	○	⑤	⑤
B	事後保全型 重要度該当0または1つ	健全度ランクE(5)にしない	60年	○	○		⑤
C	経過観察型 ・重要度該当0かつ ・カルバート橋 ・5m未満橋梁 ・仮橋 ・橋梁以外の形式	健全度ランクE(5)になるまで	耐用年数まで	○	○		
備考	※1「重要度」 ①緊急輸送路 ②1.2級市町村道 ③バス路線		特殊橋梁は橋梁ごとに設定	※2「日常巡回」は、排水路の清掃及び畜産面の堆積土砂除去を実施(費用は計上せず) ※3橋梁点検費用は計上	※4簡易予防保全費用を橋梁ごとに計上する ②:2年に1回 ⑤:5年に1回		

(・費用の縮減に関する具体的な方針)

西郷村が管理する4024は、過年度の定期点検において、橋の健全性の診断が「Ⅲ（早期措置段階）」の橋梁です。本橋は、桁下が70cmと低く補修作業が困難であり、また、接続する水路幅は、上下流共に1m程度であることから、橋を単純撤去の上、横断函渠（ボックスカルバート）へ入替を実施して、安全で円滑な交通を確保すると共に、点検の対象施設外とすることで、費用の縮減に努めていきます。

※検討する橋梁：1橋（4024） 実施予定年度：令和10年度まで

実施する内容：単純撤去（横断函渠への入れ替えも別途実施）

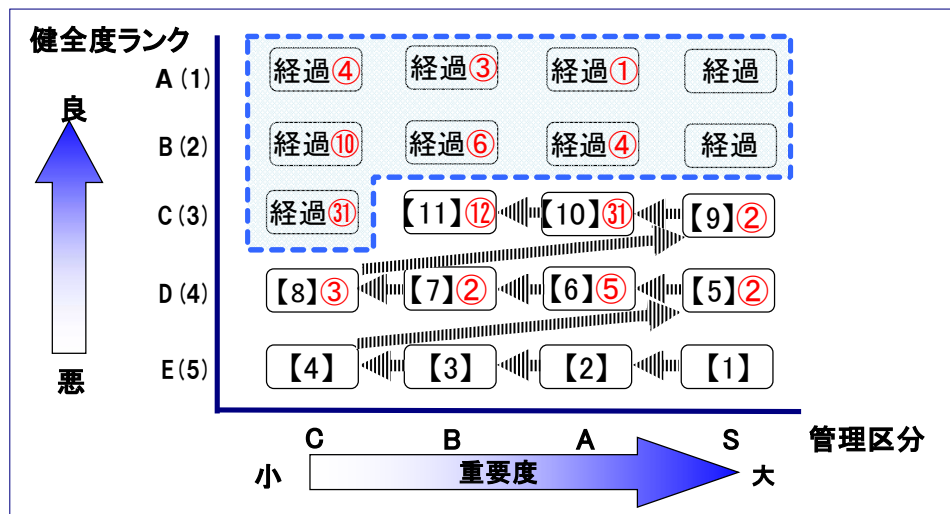
参考. 単純撤去によるコスト縮減効果（概算）

：点検費用約30万円程度縮減

集約撤去の予定はなし

2) 優先順位のつけ方

優先順位は以下のマトリックスにより管理区分と主要部材の健全度の関係から決めるものとします。



3) 橋梁毎の点検結果(個別施設の状態等)

3-1) 定期点検結果

西郷村は平成26～29年度に近接目視による定期点検及び橋梁毎の健全性の診断を行いました。また、令和元～4年度に2巡目の定期点検を実施しました。橋梁毎の点検結果は以下のとおりです。

(判定区分「Ⅱ」、健全度ランク「C(3)」以上)

番号	橋梁名	橋長 (m)	径間数	上部工 使用材料	上部工 構造形式	車道 幅員 (m)	竣工年	経過年	部材種別	健全度 ランク (前回)	健全度 区分 (前回)	前回 点検 年次	健全度 ランク	健全度 区分	最新 点検 年次	適 用
0002	西郷高原大橋	265.00	13	PC橋	プレテンT桁	11.00	1995	28	主桁	D(4)	Ⅲ	H27	D(4)	Ⅲ	R2	腐食、防食機能の劣化
0013	大清水橋	41.20	3	PC橋	ラーメン橋	3.00	1973	50	下部工	D(4)	Ⅲ	H26	D(4)	Ⅲ	R1	剝離・鉄筋露出
0023	幸せ橋	28.60	1	PC橋	ボステンT桁	7.50	1974	49	主桁、横桁、床版	D(4)	Ⅲ	H28	D(4)	Ⅲ	R1	ひびわれ、漏水・遊離石灰
0014	中島橋	40.70	1	鋼溶接橋	I桁(不明)	8.00	1984	39	主桁、横桁	C(3)	Ⅱ	H28	D(4)	Ⅲ	R2	腐食、防食機能の劣化
0016	一の又橋	34.20	1	鋼溶接橋	I桁(不明)	7.00	1985	38	主桁	C(3)	Ⅱ	H28	D(4)	Ⅲ	R2	腐食、防食機能の劣化
0080	0202-1	3.90	1	RC橋	RC 中実床版	7.50	1987	36	床版	D(4)	Ⅱ	H29	D(4)	Ⅱ	R4	剝離・鉄筋露出
0021	鶴の子橋	29.00	1	鋼溶接橋	I桁(不明)	8.00	1990	33	頂版	C(3)	Ⅱ	H28	D(4)	Ⅲ	R2	うき
0047	剣桂橋	8.10	1	RC橋	RC T桁	4.60	1935	88	下部工	D(4)	Ⅲ	H29	D(4)	Ⅲ	R3	ひびわれ、うき
0115	4024	2.00	1	RC橋	RC 中実床版	5.80	1987	36	下部工	D(4)	Ⅲ	H29	D(4)	Ⅲ	R3	洗堀
0095	5009	2.70	1	RC橋	RC 中実床版	5.20	1987	36	床版、下部工	D(4)	I	H29	D(4)	Ⅱ	R4	剝離・鉄筋露出、変形・欠損、洗堀
0050	4021	2.90	1	RC橋	RC床版(BOXカルバート)	5.20	1987	36	頂版	C(3)	Ⅱ	H29	D(4)	Ⅲ	R3	ひびわれ
0091	1008	3.00	1	RC橋	RC桁橋(その他)	3.00	1987	36	主桁	D(4)	Ⅱ	H28	D(4)	Ⅱ	R3	ひびわれ
0006	追原橋	71.20	3	鋼溶接橋	H形鋼(合成)	7.00	1981	42	主桁、下部工	C(3)	Ⅱ	H28	C(3)	Ⅲ	R2	腐食、防食機能の劣化、ひびわれ
0001	紅葉大橋	210.00	3	PC橋	ラーメン橋	7.00	1997	26	主桁、横桁、下部工	C(3)	Ⅱ	H28	C(3)	Ⅱ	R2	ひびわれ
0005	雪割橋	138.50	3	鋼溶接橋	アーチ橋	6.50	2020	3	床版				C(3)	Ⅱ	R2	床版ひびわれ、漏水・遊離石灰
0017	滝の入橋	32.80	1	鋼溶接橋	I桁(不明)	5.00	1971	52	主桁、下部工	C(3)	Ⅱ	H28	C(3)	Ⅱ	R2	腐食、防食機能の劣化、ひびわれ
0038	真名子橋	15.20	1	PC橋	プレテン中空床版	4.20	2000	23	下部工				C(3)	Ⅱ	R2	ひびわれ
0010	蓬原橋	47.60	2	鋼溶接橋	I桁(不明)	7.00	1973	50	主桁、横桁、下部工	C(3)	Ⅱ	H28	C(3)	Ⅲ	R2	腐食、防食機能の劣化、床版ひびわれ、ひびわれ、漏水・遊離石灰
0008	真鶴橋	68.20	2	PC橋	ボステンT桁	7.50	1990	33	横桁、下部工	C(3)	Ⅱ	H28	C(3)	Ⅱ	R2	ひびわれ、うき
0025	中羽太橋	28.30	1	PC橋	プレテンT桁	4.00	2000	23	横桁、床版、下部工	C(3)	Ⅱ	H28	C(3)	Ⅱ	R2	剝離・鉄筋露出、床版ひびわれ、漏水・遊離石灰
0007	下熊倉橋	69.00	2	PC橋	ボステンT桁	7.50	2005	18	主桁、横桁、下部工	C(3)	Ⅱ	H28	C(3)	Ⅱ	R2	ひびわれ、漏水・遊離石灰
0048	0103	7.54	1	RC橋	RC床版(BOXカルバート)	7.00	1987	36	頂版、側壁	C(3)	Ⅱ	H29	C(3)	Ⅱ	R4	剝離・鉄筋露出、漏水・滯水、ひびわれ
0020	谷津田橋歩道橋	30.70	1	鋼溶接橋	H形鋼(不明)	0.00	1992	31	床版	C(3)	Ⅱ	H28	C(3)	Ⅲ	R1	床版ひびわれ
0024	谷津田橋	28.60	1	PC橋	ボステンT桁	8.00	1974	49	主桁、横桁	C(3)	Ⅱ	H28	C(3)	Ⅱ	R1	剝離・鉄筋露出、変形・欠損
0074	0208	4.40	1	RC橋	RC床版(BOXカルバート)	9.40	1987	36	頂版、側壁	C(3)	Ⅱ	H29	C(3)	Ⅱ	R4	ひびわれ
0081	0203-1	3.90	1	RC橋	RC 中実床版	7.10	1987	36	床版、下部工	B(2)	I	H29	C(3)	Ⅱ	R4	剝離・鉄筋露出
0004	鶴生橋	89.30	3	PC橋	プレテンT桁	7.50	1981	42	下部工	D(4)	Ⅲ	H28	C(3)	I	R2	ひびわれ(補修済)
0019	下羽太5号橋	31.30	1	PC橋	ボステンT桁	5.00	1986	37	主桁、横桁、下部工	C(3)	Ⅱ	H28	C(3)	Ⅲ	R2	変形・欠損、床版ひびわれ
0089	0202-2	3.40	1	RC橋	RC床版(BOXカルバート)	3.10	1987	36	頂版、側壁	B(2)	I	H29	C(3)	Ⅱ	R4	剝離・鉄筋露出、漏水・滯水
0114	2011	2.10	1	RC橋	RC床版(BOXカルバート)	2.40	1987	36	頂版、側壁	C(3)	Ⅱ	H29	C(3)	Ⅱ	R4	漏水・滯水
0011	新田橋	45.00	1	鋼溶接橋	箱桁(合成)	7.50	2015	8	床版、下部工	B(2)	I	H28	C(3)	Ⅱ	R2	床版ひびわれ、ひびわれ
0009	折鶴橋	66.00	2	鋼溶接橋	I桁(不明)	7.00	1994	29	横桁、下部工	C(3)	Ⅱ	H28	C(3)	Ⅱ	R2	腐食、防食機能の劣化、ひびわれ、漏水・遊離石灰
0035	虫笠橋	16.00	1	鋼溶接橋	H形鋼(不明)	4.00	1988	35	主桁、床版	C(3)	Ⅱ	H28	C(3)	Ⅱ	R2	腐食、防食機能の劣化、床版ひびわれ、漏水・遊離石灰
0088	0204-1	3.40	1	RC橋	RC 中実床版	7.20	1987	36	床版、下部工	C(3)	Ⅱ	H29	C(3)	Ⅱ	R4	剝離・鉄筋露出、漏水・滯水
0104	0204-2	2.40	1	RC橋	RC床版(BOXカルバート)	2.50	1987	36	頂版、側壁	C(3)	Ⅱ	H29	C(3)	Ⅱ	R4	漏水・滯水
0106	0203-2	2.40	1	RC橋	RC床版(BOXカルバート)	2.80	1987	36	頂版、側壁	B(2)	I	H29	C(3)	Ⅱ	R4	漏水・滯水
0034	高助橋	16.40	1	PC橋	プレテンT桁	6.00	1979	44	下部工	C(3)	Ⅱ	H28	C(3)	Ⅱ	R2	ひびわれ
0015	新小田倉橋	39.30	1	PC橋	PC 床版橋その他	6.80	2007	16	床版	B(2)	I	H28	C(3)	Ⅱ	R2	漏水・遊離石灰
0030	千鶴橋	21.00	1	PC橋	プレテンT桁	8.00	1991	32	下部工	C(3)	Ⅱ	H28	C(3)	Ⅱ	R2	ひびわれ
0039	前山橋	12.20	1	PC橋	PC 床版橋その他	7.00	1988	35	下部工	C(3)	Ⅱ	H28	C(3)	Ⅱ	R1	ひびわれ
0003	長坂橋	99.80	3	PC橋	ボステンT桁	7.50	1994	29	下部工	C(3)	Ⅱ	H28	C(3)	Ⅱ	R2	ひびわれ
0012	下堀川橋	44.20	2	PC橋	プレテンT桁	5.00	1999	24	下部工	C(3)	Ⅱ	H28	C(3)	Ⅱ	R2	ひびわれ
0036	岩下橋	16.00	1	PC橋	PC 床版橋その他	5.00	2011	12	床版	B(2)	I	H28	C(3)	I	R2	漏水・遊離石灰
0026	下羽太橋	27.90	1	PC橋	プレテン中空床版	3.00	1986	37	主桁	C(3)	Ⅱ	H28	C(3)	Ⅱ	R1	ひびわれ
0037	狼山合橋	15.50	1	PC橋	PC 床版橋その他	6.80	1999	24	下部工	C(3)	Ⅱ	H28	C(3)	Ⅱ	R2	ひびわれ
0082	0201	3.20	1	RC橋	RC桁橋(その他)	8.30	1987	36	床版、下部工	C(3)	Ⅱ	H29	C(3)	Ⅱ	R3	漏水・遊離石灰、ひびわれ、剝離・鉄筋露出
0042	0104	11.80	1	鋼溶接橋	H形鋼(合成)	3.00	1965	58	主桁、横桁、床版	C(3)	Ⅱ	H28	C(3)	Ⅱ	R2	腐食、防食機能の劣化、床版ひびわれ
0071	0101	4.50	1	RC橋	RC 中実床版	6.10	1967	56	床版、下部工	C(3)	Ⅱ	H28	C(3)	Ⅱ	R3	うき、変形・欠損
0087	0105	3.40	1	RC橋	RC 中実床版	6.00	1986	37	床版、下部工	C(3)	Ⅱ	H29	C(3)	Ⅱ	R4	剝離・鉄筋露出、うき
0040	原中橋	12.08	1	PC橋	PC 床版橋その他	6.80	1986	37	下部工	C(3)	Ⅱ	H28	C(3)	Ⅱ	R1	ひびわれ
0044	4009	9.50	1	RC橋	RC床版橋(その他)	5.48	1987	36	床版、下部工	C(3)	Ⅱ	H29	C(3)	Ⅱ	R3	剝離・鉄筋露出、漏水・遊離石灰

3-1) 定期点検結果

番号	橋梁名	橋長 (m)	径間数	上部工 使用材料	上部工 構造形式	車道 幅員 (m)	竣工年	経過年	部材種別	健全度 ランク (前回)	健全度 区分 (前回)	前回 点検 年次	健全度 ランク	健全度 区分	最新 点検 年次	適 用
0102	4025	2.50	1	RC橋	RC 中実床版	5.70	1987	36	床版、下部工	C(3)	II	H28	C(3)	II	R3	剥離・鉄筋露出、洗堀、漏水・滯水
0051	天狗橋	6.30	1	PC橋	PC 床版橋その他	7.27	2000	23	床版、下部工	C(3)	II	H29	C(3)	II	R3	漏水・遊離石灰、漏水・滯水
0046	0206	8.45	1	PC橋	PC 床版橋その他	7.00	1973	50	床版	D(4)	III	H28	C(3)	II	R3	変形・欠損、漏水・遊離石灰 (補修済)
0060	4034	5.00	1	PC橋	PC 床版橋その他	4.20	1987	36	床版、下部工	C(3)	II	H28	C(3)	II	R3	漏水・遊離石灰、洗堀
0053	1003	6.00	1	RC橋	RC 中実床版	2.50	1987	36	床版、下部工	C(3)	II	H29	C(3)	II	R3	剥離・鉄筋露出、漏水・遊離石灰、洗堀
0029	紅葉橋	21.76	1	PC橋	プレテンT桁	4.00	1999	24	下部工	B(2)	I	H28	C(3)	I	R2	ひびわれ
0018	礪石橋	31.60	1	鋼溶接橋	桁(不明)	5.00	1976	47	主桁、横桁、床版	C(3)	II	H28	C(3)	II	R2	腐食、防食機能の劣化、漏水・遊離石灰
0069	にらみ岩橋	4.60	1	RC橋	RC 中実床版	6.00	1969	54	床版、下部工	C(3)	II	H29	C(3)	II	R4	漏水・遊離石灰、ひびわれ
0061	3007	5.06	1	RC橋	RC床版(BOXカルバート)	6.10	1973	50	頂版、側壁	C(3)	II	H28	C(3)	II	R3	ひびわれ、剥離・鉄筋露出、うき
0085	4033	3.50	1	RC橋	RC床版橋(その他)	6.00	1987	36	床版、下部工	C(3)	II	H29	C(3)	II	R4	剥離・鉄筋露出、ひびわれ、うき
0066	4036	4.80	1	RC橋	RC床版(BOXカルバート)	6.10	1990	33	頂版、側壁	B(2)	I	H29	C(3)	II	R4	剥離・鉄筋露出
0056	5029	5.50	1	RC橋	RC床版(BOXカルバート)	6.80	2008	15	頂版、側壁	C(3)	II	H29	C(3)	II	R3	漏水・遊離石灰、漏水・滯水、ひびわれ
0103	5028	2.50	1	RC橋	RC床版(BOXカルバート)	7.50	2012	11	頂版、側壁	C(3)	II	H28	C(3)	II	R4	ひびわれ、漏水・遊離石灰
0109	5011	2.20	1	RC橋	RC 中実床版	3.00	1965	58	床版、下部工	C(3)	II	H28	C(3)	II	R3	漏水・遊離石灰、剥離・鉄筋露出、ひびわれ
0068	片見橋	4.50	1	RC橋	RC 中実床版	5.50	1969	54	床版、下部工	C(3)	II	H29	C(3)	II	R3	剥離・鉄筋露出、ひびわれ、漏水・遊離石灰
0072	3009	4.50	1	RC橋	RC床版(BOXカルバート)	5.90	1973	50	頂版、側壁	C(3)	II	H28	C(3)	II	R3	剥離・鉄筋露出、漏水・遊離石灰、ひびわれ、変形・欠損
0067	4010	4.88	1	RC橋	RC 中実床版	4.20	1987	36	床版、下部工	C(3)	II	H29	C(3)	II	R3	剥離・鉄筋露出、変形・欠損
0065	1009	4.80	1	RC橋	RC 中実床版	3.00	1987	36	床版、下部工	C(3)	II	H29	C(3)	II	R3	剥離・鉄筋露出、漏水・遊離石灰
0070	4023	4.60	1	RC橋	RC床版(BOXカルバート)	5.70	1987	36	頂版、側壁	C(3)	II	H29	C(3)	II	R4	剥離・鉄筋露出、漏水・滯水
0062	4019	4.50	1	RC橋	RC床版(BOXカルバート)	5.00	1987	36	頂版、側壁	C(3)	II	H29	C(3)	II	R3	ひびわれ、漏水・遊離石灰、剥離・鉄筋露出
0057	5027	4.20	1	RC橋	RC床版(BOXカルバート)	4.50	1987	36	床版、下部工	C(3)	II	H29	C(3)	II	R3	漏水・遊離石灰
0083	2002	3.60	1	RC橋	アーチ橋	4.00	1987	36	床版、下部工	C(3)	II	H29	C(3)	II	R3	ひびわれ、剥離・鉄筋露出
0111	4026	2.10	1	RC橋	RC床版(BOXカルバート)	5.30	1993	30	頂版、側壁	C(3)	II	H29	C(3)	II	R4	剥離・鉄筋露出、漏水・滯水
0073	2014	4.50	1	RC橋	RC床版(BOXカルバート)	5.20	2008	15	頂版、側壁	C(3)	II	H29	C(3)	II	R3	うき、漏水・滯水
0093	1006	3.00	1	RC橋	RC桁橋(その他)	3.80	1965	58	主桁、下部工	C(3)	II	H29	C(3)	II	R4	剥離・鉄筋露出
0094	1005	3.00	1	RC橋	RC桁橋(その他)	3.40	1965	58	主桁、下部工	C(3)	II	H29	C(3)	II	R4	その他、ひびわれ
0058	3008	4.84	1	RC橋	RC床版(BOXカルバート)	2.50	1973	50	頂版、側壁	C(3)	II	H29	C(3)	II	R3	ひびわれ、漏水・滯水
0054	5030	5.90	1	RC橋	RC床版(BOXカルバート)	6.80	2008	15	頂版、側壁	B(2)	I	H28	C(3)	II	R3	漏水・遊離石灰、漏水・滯水
0064	3003	4.80	1	RC橋	RC床版(BOXカルバート)	6.00	1987	36	頂版、側壁	C(3)	II	H28	C(3)	II	R3	ひびわれ
0063	4022	2.90	1	RC橋	RC床版(BOXカルバート)	6.10	1987	36	頂版	B(2)	I	H29	C(3)	II	R4	漏水・遊離石灰
0079	4035	3.90	1	RC橋	RC 中実床版	8.00	1989	34	床版	C(3)	II	H29	C(3)	II	R4	剥離・鉄筋露出
0097	5017	2.60	1	RC橋	RC 中実床版	3.00	1987	36	床版	C(3)	II	H28	C(3)	II	R3	うき、剥離・鉄筋露出
0092	5002	3.00	1	RC橋	RC 中実床版	5.64	1993	30	床版	C(3)	II	H29	C(3)	II	R4	剥離・鉄筋露出
0105	4015	2.40	1	RC橋	RC床版(BOXカルバート)	7.00	2012	11	側壁	B(2)	I	H29	C(3)	II	R4	漏水・滯水
0075	5018	3.60	1	RC橋	RC 中実床版	4.04	1987	36	下部工	C(3)	II	H29	C(3)	II	R4	剥離・鉄筋露出、漏水・滯水
0101	5005	2.50	1	RC橋	RC床版(BOXカルバート)	2.50	1987	36	側壁	B(2)	I	H28	C(3)	II	R3	剥離・鉄筋露出、漏水・滯水
0078	4007	4.00	1	RC橋	RC 中実床版	2.50	1987	36	下部工	C(3)	II	H29	C(3)	II	R4	剥離・鉄筋露出、その他、漏水・滯水

区分		状 態	健全度 ランク	判定区分	備 考	該当橋梁数	割 合
I	健全	構造物の機能に支障が生じていない状態	A(1)	健全	損傷が認められない	8橋	7%
II	予防保全段階	構造物の機能に支障が生じていないが、 予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい状態	B(2)	対策不要	損傷が軽微で補修を行う必要がない	20橋	17%
III	早期措置段階	構造物の機能に支障が生じている可能性があり、 早期に措置を講ずべき状態	C(3)	状況に応じ早めに対策	状況に応じて補修を行う必要がある	76橋	66%
			D(4)	早急に補修必要	速やかに補修を行う必要がある	12橋	10%
IV	緊急措置段階	構造物の機能に支障が生じている、又は生じる可能性が著しく高く、 緊急に措置を講ずべき状態	E(5)	緊急対応の必要	緊急対策の必要がある	0橋	0%

定期点検による判定区分と修繕計画健全度ランクの関係（基本）

3-2) 主要部材の損傷写真 健全度ランク「D(4)」以上の橋梁



002. 西郷高原大橋：
鋼箱桁橋＋プレテンT桁橋
(橋長：255.00m、1995年竣工)
鋼主桁の板厚減少を伴う腐食
※主桁の板厚減少により、耐荷力の低下が
推測される。(迂回路有り)



013. 大清水橋：PCラーメン橋
(橋長：41.20m、1973年竣工)
橋脚(垂直材)の剥離・鉄筋露出
※広範囲な鉄筋露出により、鉛直支持機能
の低下が推測される。
(迂回路有り)



023. 幸せ橋：ポステンT桁橋
(橋長：28.60m、1974年竣工)
ポステン桁下面の遊離石灰を伴うひびわれ
※雨水の浸入により、内部鋼材の腐食が進
行する可能性が高い。(迂回路有り)



014. 中島橋：鋼I桁橋
(橋長：40.70m、1984年竣工)
主桁端部の板厚減少を伴う腐食
※主桁端部の板厚減少により、耐荷力の低
下が推測される。(迂回路有り)



016. 一の又橋：鋼I桁橋
(橋長：34.20m、1985年竣工)
主桁端部の板厚減少を伴う腐食
※主桁端部の板厚減少により、耐荷力の低
下が推測される。(迂回路有り)



080. 0202-1：RC床版橋
(橋長：3.90m、1987年竣工)
床版下面の鉄筋露出・うき
※露出鉄筋の著しい腐食により、耐荷力の
低下が推測される。(迂回路有り)

3-2) 主要部材の損傷写真 健全度ランク「D(4)」以上の橋梁



021. 鶴の子橋：鋼I桁橋
 (橋長：29.00m、1990年竣工)
 橋台橋座面（沓座近辺）のうき
 ※地震等の外力により、損傷は進行する可能性が高い。（迂回路有り）



047. 剣桂橋：RCT桁橋
 (橋長：8.10m、1935年竣工)
 橋台側面の斜め方向ひびわれ
 ※地震等の外力により、橋台の欠損に進展する可能性が高い。（迂回路有り）



115. 4024：RC床版橋
 (橋長：2.00m、1987年竣工)
 橋台基礎部の洗堀
 ※基礎部の洗堀により、鉛直支持機能の低下が推測される。（迂回路有り）



095. 5009：RC床版橋+ボックスカルバート
 (橋長：2.70m、1987年竣工)
 橋台前面の断面欠損
 ※著しい断面欠損により、鉛直支持機能の低下が推測される。（迂回路有り）

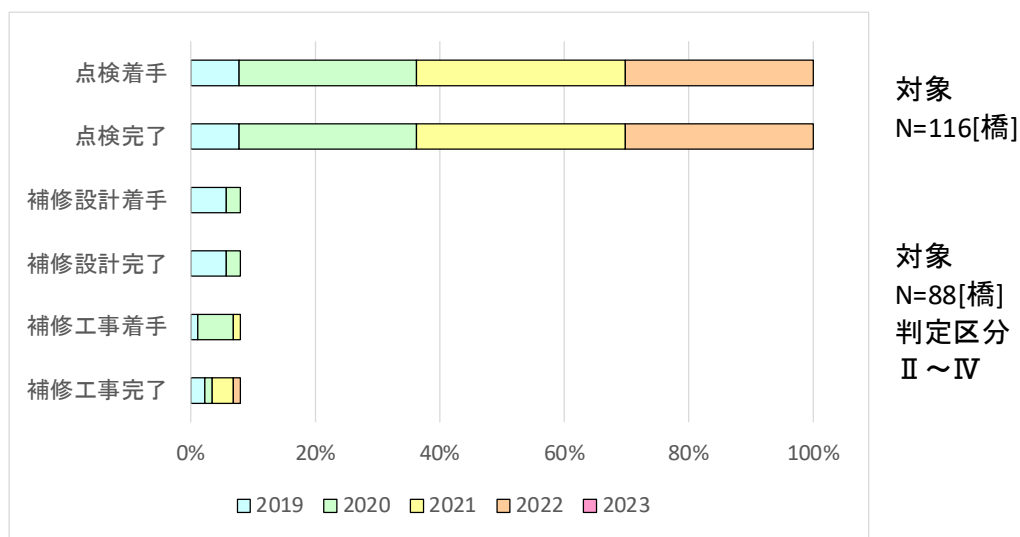


050. 4021：ボックスカルバート橋
 (橋長：2.90m、1987年竣工)
 頂版及びハンチ部のひびわれ
 ※雨水の浸入により、進行する可能性が高い。（迂回路有り）



091. 1008：RCπ桁橋
 (橋長：3.00m、1987年竣工)
 主桁下面の橋軸直角方向ひびわれ
 ※車両の通行により、損傷は進行する可能性が高い。（迂回路有り）

3-2) 主要部材の損傷写真 健全度ランク「D(4)」以上の橋梁



橋梁メンテナンス事業 着手状況（定期点検2巡目）

※複数年にわたる事業については、着手年を事業初年度、完了年を事業最終年度に計上
※機能縮小等を含む

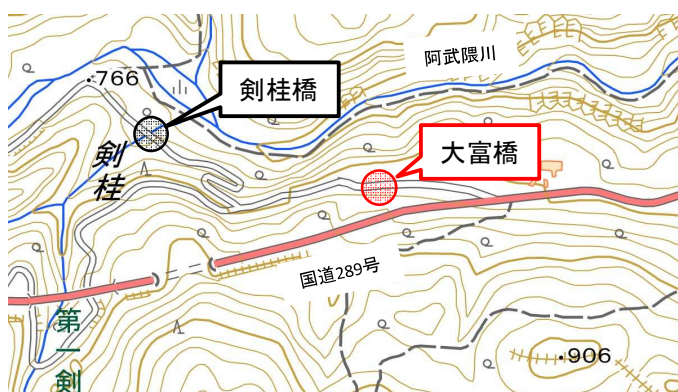
3-3) 橋梁の撤去・集約化事例

西郷村の小スパン（橋長2～5m）橋梁の多くは、高度経済成長期に建設され、社会経済の発展や村民生活の向上に寄与してきました。しかし、一部の小スパン橋において、定期点検の結果、老朽化により早期対策が必要と判断された判定区分「Ⅲ」とした損傷が確認されました。判定区分「Ⅲ」の橋梁は、5年以内に対策（補修、架替等）を講じることを基本としていますが、村では、桁下に鋼管を設置しエアモルタルを充填することで、橋梁の定義外※へ機能縮小を図りました。機能縮小を実施したことにより、第三者被害の防止や、維持管理費用の縮減に繋がっています。

※橋梁：河川、湖沼、海峡、運河などの水面を越えるため、あるいは水のない谷、凹地または、建築物や他の交通路等を越えるために桁下に空間を残し、架設される道路構造物で橋長2.0m以上のもの。

- ・橋梁名：大富橋
- ・路線名：村道奥甲子線
(旧国道289号)
- ・集約・撤去方針：機能縮小
(既設橋梁に鋼管設置、エアモルタル充填)
- ・集約・撤去理由：定期点検により早期措置が必要な損傷を確認

※順位を最下位（116位）として計画を策定します。



左：側景（右側）

補修前
右：損傷（鉄筋露出）

補修後（右側）

3-3) 橋梁の補修状況

西郷村は、定期点検結果より早期対策が必要な判定区分「Ⅲ」と診断された橋梁のうち、10橋について、橋梁の延命化を図ると共に、安全で円滑な交通の確保、沿道や第三者への被害の防止を図るために、平成25年度及び、平成29年度～令和2年度に、それぞれ変状の詳細調査及び補修設計を実施しました。

また、補修設計を実施した計8橋について、平成26年度～令和4年度にそれぞれ補修工事を実施しています。

対象橋梁は、以下のとおりです。

●対策事例

- ・0206（平成30年度補修設計、令和元年度補修工事済）（判定区分：「Ⅲ」→「Ⅱ」）

★補修工法 ※「N」：NETIS登録技術採用

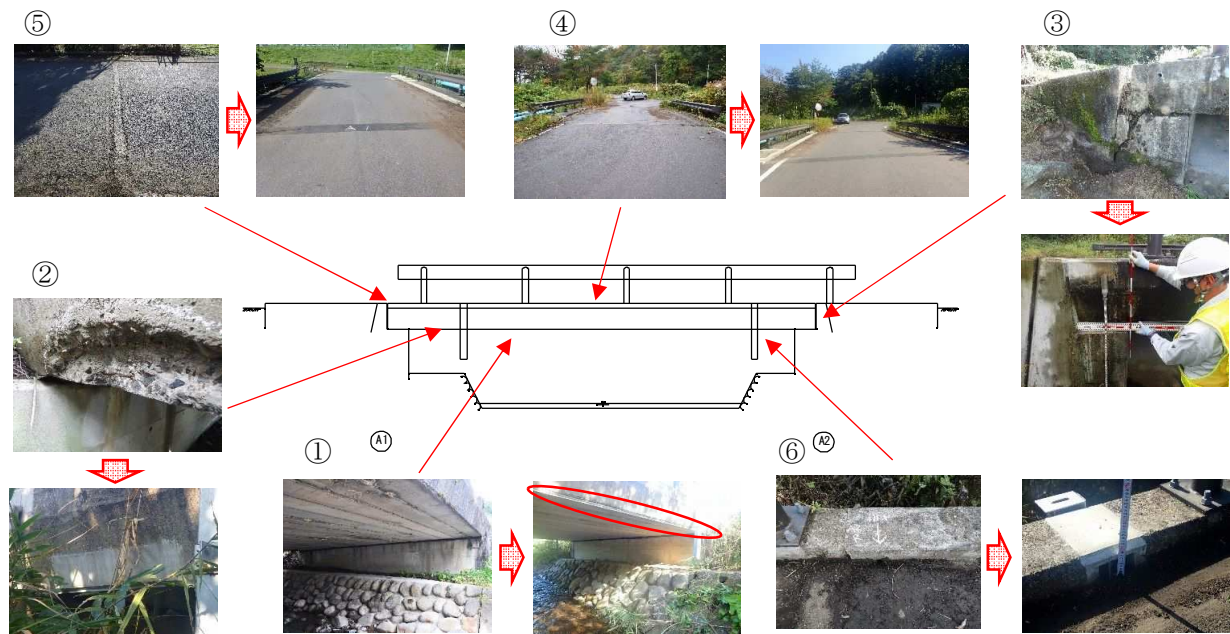
- ・床版補修工（水切り材設置「N」）・・・①
- ・主桁補修工（断面修復工）・・・②
- ・下部構造補修工
（ひびわれ注入工、断面修復工）・・・③
- ・高欄補修工（部分交換）
- ・地覆補修工（部分打替え）
- ・舗装補修工（舗装打替え）・・・④
- 〃（防水層設置）
- ・伸縮装置補修工（新設）・・・⑤
- ・排水装置補修工（取替）・・・⑥
- ・橋台背面擁壁補修工（撤去、再設置）
- ・橋台背面舗装補修工（舗装打替え）
- ・護岸補修工（シールコンクリート設置）



0206全景

左：補修前

右：補修後



補修箇所（抜粋）

●実施箇所

- ・鶴生橋（平成29年度補修設計、平成29～令和元年度補修工事済）（判定区分：「Ⅲ」→「Ⅰ」）
- ・3006（令和元年度補修設計、令和2～3年度補修工事済）（判定区分：「Ⅲ」→「Ⅰ」）
- ・一ツ橋（令和元年度補修設計、令和2～3年度補修工事済）（判定区分：「Ⅲ」→「Ⅰ」相当）
- ・大富橋（令和元年度補修設計、令和2～3年度補修工事済）（判定区分：「Ⅲ」→「Ⅰ」）
- ・西郷高原大橋（平成25年度補修設計、平成26～28、令和3～5年度（跨線部）補修工事中）
- ・幸せ橋（令和元年度補修設計、令和2年度一部補修工事済）
- ・剣桂橋、4024（令和2年度補修設計済）

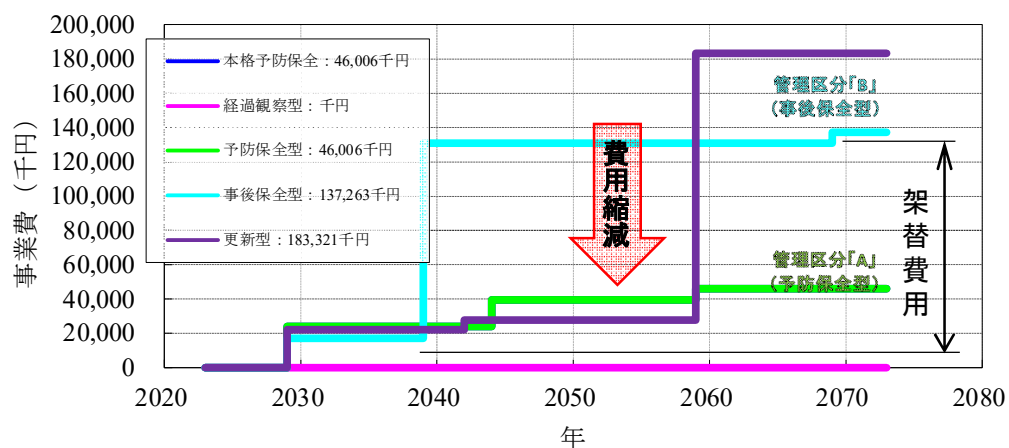
4) 修繕計画策定における管理区分を見直しする橋梁

幸せ橋を含む24橋は橋長が14.5m以上の橋梁ですが、重要度に該当する項目が無しまたは1つであり、管理区分が「B」の事後保全型の橋梁となります。

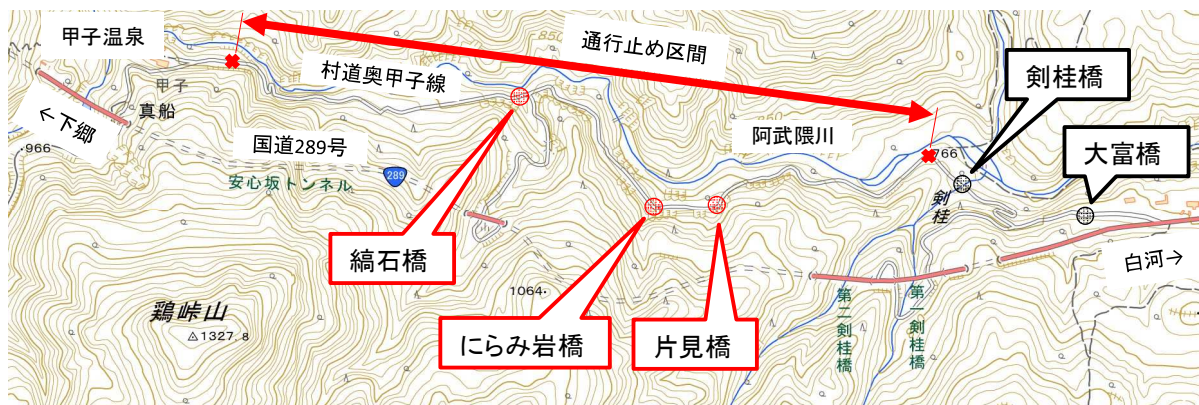
事後保全型の橋梁は計画上の寿命設定が60年であり、下表に示す対象橋の例では架け替えのため2039年に費用が増大します。これを寿命設定が100年の管理区分「A」（予防保全型）に変更し対策を行っていくことで、管理費用の縮減が図られ、現実的な村の予算に近づけることが可能となります。

高助橋の事業費の推移

各シナリオの累計費用



縞石橋、にらみ岩橋、片見橋がある村道奥甲子線は、剣桂橋を過ぎると現在通行止めとなっており、利用者はなく重要度は低いと考えられることから、管理区分を補修・更新を行わず、定期点検のみを行う「C」の経過観察型としました。



位置図



縞石橋



にらみ岩橋



片見橋

迫原橋は、主要部材の判定区分は「Ⅱ」（健全度ランク「C」）ですが、鋼製支承の著しい腐食及び支承近傍の大量の土砂堆積により機能障害を生じているため、支承の判定区分を「Ⅲ」としており、また、本橋が架かる村道は、国道289号から陸上自衛隊白河布引山演習場への進入路であることから、大型車交通も多く、優先度・重要度共に高いと推定されるため、順位を健全度ランク「C」の最上位に修正しました。（17位→13位）



位置図



全景写真



損傷代表写真

滝の入橋及び真名子橋は迂回路の計画が不可能なため、健全度ランク「C」、管理区分「A」の最上位にそれぞれ順位を修正しました。
 (滝の入橋：(19位→16位)、真名子橋：(42位→17位))



位置図

5) 全橋梁の優先順位一覧表

上記を考慮した橋梁全体の優先順位一覧表は添付の通りです。

5. 対象橋梁ごとの概ねの次回点検時期及び修繕内容・時期又は架替え時期（5. 対策内容と実施時期）
（・ 構造物の諸元、・ 直近の点検結果及び次回点検年度、・ 対策内容、・ 対策の着手、完了予定年度）

様式1-2による

※補修工法の選定にあたっては、NETIS等に登録され活用促進技術に指定されている新技術について、従来工法とのライフサイクルコストの比較検討を行った後に積極的に採用し、維持管理費用の縮減や再劣化防止等に努めていきます。

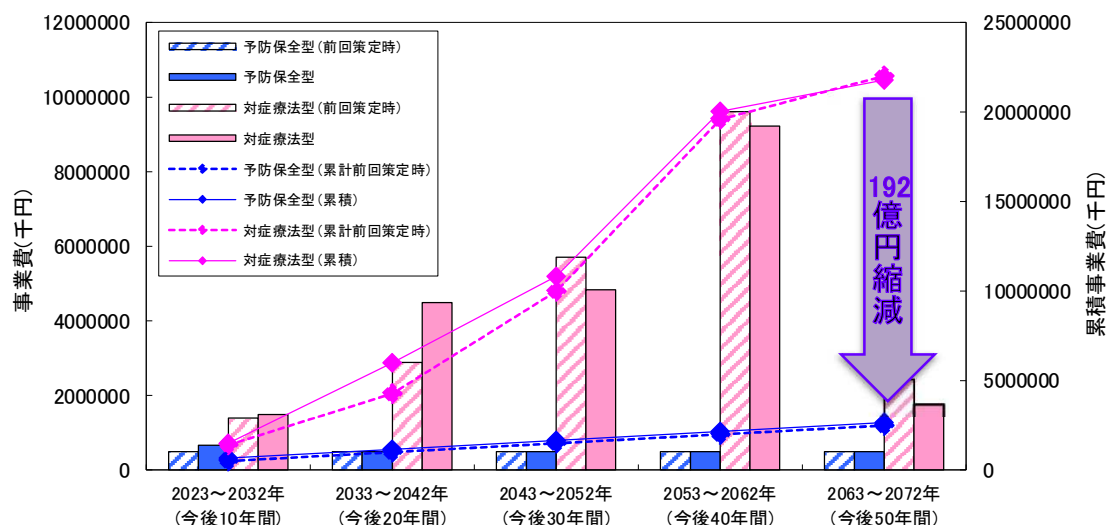
- 活用促進技術に指定されている新技術の例
鋼橋の塗装：錆転換型塗装（登録番号）
コンクリート部材：断面修復工（登録番号）
伸縮装置：（登録番号）

（6. 対策費用の概算（・ 対策に係る全体概算事業費）は、様式1-2、各橋梁の長寿命化修繕計画による）

6. 長寿命化修繕計画による効果

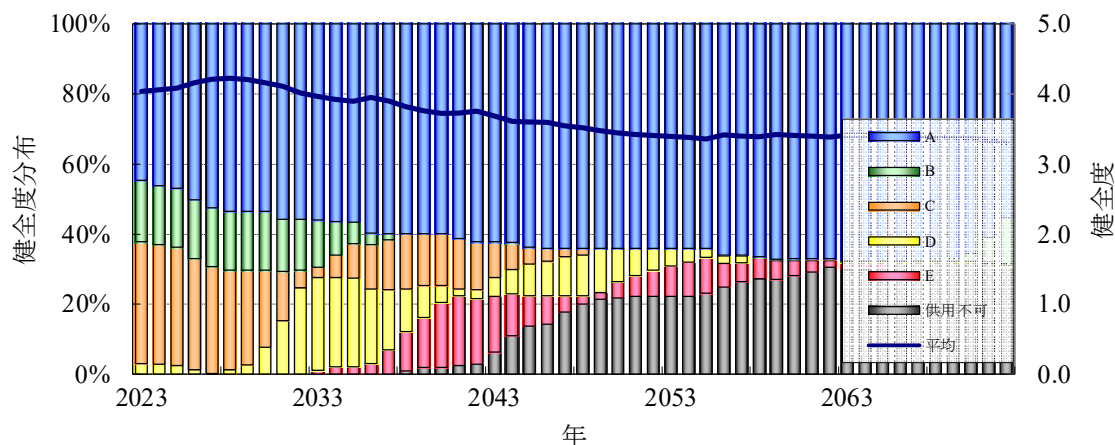
西郷村が管理する橋梁について、点検結果を基に今後50年間での予算シミュレーションを行い、以下の結果が得られました。

長寿命化修繕計画を策定する116橋について、年間の予算制約額を0.50億円とし今後50年間の事業費を比較すると、従来の対症療法型が218億円に対し、長寿命化修繕計画の実施による予防保全型が26億円となり、コスト縮減効果は192億円（88.1%減）となります。



また、計画的な修繕を実施することにより、良好な健全度を維持することが可能となり、損傷に起因する通行制限等が減少し、道路の安全性及び信頼性が確保されます。

健全度分布の推移



7. 計画策定担当部署および意見聴取した学識経験者等の専門知識を有する者

1) 計画策定担当部署

西郷村 建設課 tel : 0248-25-1117

2) 意見を聴取した学識経験者等の専門知識を有する者

日本大学 工学部 土木工学科 教授 岩城 一郎

【様式 1－2】

5. 対象橋梁ごとの概ねの次回点検時期及び修繕内容・時期又は架替時期

凡例：↔ 対策を実施すべき時期を示す。

↔下は補修部材及び補修内容を示す。

橋梁名	道路 種別	路線名	橋長 (m)	架設 年度	供用 年数	最新 点検 年次	最新 点検 結果	対策の内容・時期														合計 (千円)
								R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14					
西郷高原大橋	1級	西郷堀目線	265	1995	28	R2	Ⅲ	↔	点検	主部材：鋼部材塗装工等					点検					174,586		
大清水橋	その他	高速側道間2号線	41.2	1973	50	R1	Ⅲ	↔	点検	主部材：ひびわれ補修工、断面修復工、表面保護工					点検					89,407		
幸せ橋	1級	折口原一の又線	28.6	1974	49	R1	Ⅲ		↔	点検	主部材：ひびわれ補修工、断面修復工、表面塗装工、仮設工				点検					57,478		
中島橋	その他	上新田中久保線	40.7	1984	39	R2	Ⅲ			↔	点検	主部材：新洗浄、塗装工			点検					41,461		
一の又橋	その他	上上野原・田土ヶ入線	34.2	1985	38	R2	Ⅲ			↔	点検	主部材：新洗浄、塗装工			点検					35,024		
0202-1	2級	駅前西線	3.9	1987	36	R4	Ⅱ			↔	点検	主部材：新洗浄、塗装工				点検				4,375		
鶴の子橋	その他	上新田・中久保線	29	1990	33	R2	Ⅲ		↔	点検	床版：床版防水&断面修復&足場				点検					22,649		
剣柱橋	その他	奥甲子線	8.1	1935	88	R3	Ⅲ			↔	点検	主部材：表面保護工				点検				6,292		
4024	その他	一の又台上線	2	1987	36	R3	Ⅲ			↔	点検	更新				点検				8,872		
5009	その他	古米坂1号線	2.7	1987	36	R4	Ⅱ			↔	点検	床版：床版防水&断面修復&足場					点検			2,332		
4021	その他	芝原4号線	2.9	1987	36	R3	Ⅲ			↔	点検	床版：床版防水&断面修復&足場				点検				3,999		
1008	その他	長坂ノ尻4号線	3	1987	36	R3	Ⅱ			↔	点検	主部材：断面修復&足場				点検				1,735		
追原橋	2級	折口追原線	71.2	1981	42	R2	Ⅲ			↔	点検				↔	点検				132,934		
紅葉大橋	その他	川谷蒲日向4号線	210	1997	26	R2	Ⅱ			↔	点検				↔	点検	主部材：断面修復等			49,033		
雪割橋	2級	川谷・由井ヶ原線	138.5	2020	3	R4	Ⅱ				点検											
滝の入橋	1級	南・突貫沢線	32.8	1971	52	R2	Ⅱ			↔	点検				点検							
真名子橋	その他	真名子線	15.2	2000	23	R2	Ⅱ			↔	点検				点検	↔				5,275		
蓬隈橋	1級	高助・追原・四ツ門線	47.6	1973	50	R2	Ⅱ			↔	点検				点検							
真鶴橋	1級	折口原・鶴生線	68.2	1990	33	R2	Ⅱ			↔	点検				点検							
中羽太橋	その他	羽太ほ場8号線	28.3	2000	23	R2	Ⅱ			↔	点検				点検							
下熊倉橋	その他	梶山・嫁塚線	69	2005	18	R2	Ⅱ			↔	点検				点検							
0103	1級	原中・四ツ門線	7.54	1987	36	R4	Ⅱ					点検						点検				
谷津田橋歩道橋	1級	原中・四ツ門線	30.7	1992	31	R1	Ⅱ			↔	点検				点検							
谷津田橋	1級	原中・四ツ門線	28.6	1974	49	R1	Ⅱ			↔	点検				点検							
0208	2級	上新田大平線	4.4	1987	36	R4	Ⅱ					点検				↔	点検	床版：ひび割れ補修等		7,599		
0203-1	2級	駅前西線	3.9	1987	36	R4	Ⅱ				↔	点検						点検				
鶴生橋	1級	米高助線	89.3	1981	42	R2	Ⅱ			↔	点検				点検							
下羽太5号橋	その他	下羽太ほ場1号線	31.3	1986	37	R2	Ⅱ			↔	点検				点検							
0202-2	2級	駅前西線	3.4	1987	36	R4	Ⅱ					点検						点検				
2011	1級	高助・追原・四ツ門線	2.1	1987	36	R4	Ⅱ				↔	点検						点検				
新田橋	2級	駅前西線	45	2015	8	R2	Ⅱ			↔	点検				点検							
折鶴橋	その他	上新田・中久保線	66	1994	29	R2	Ⅱ			↔	点検				点検							
虫笠橋	その他	羽太ほ場4号線	16	1988	35	R2	Ⅱ			↔	点検				点検							
0204-1	2級	駅前西線	3.4	1987	36	R4	Ⅱ				↔	点検						点検				
0204-2	2級	駅前西線	2.4	1987	36	R4	Ⅱ			↔	点検	床版：ひび割れ補修等						点検		655		
0203-2	2級	駅前西線	2.4	1987	36	R4	Ⅱ					点検						点検				
高助橋	その他	高助段の原線	16.4	1979	44	R2	Ⅱ			↔	点検				点検							
新小田倉橋	その他	西原山神裏線	39.3	2007	16	R2	Ⅱ			↔	点検				点検							
千鶴橋	その他	上新田中久保線	21	1991	32	R2	Ⅱ			↔	点検	橋台：ひび割れ補修等			点検					2,453		
前山橋	2級	上新田大平線	12.2	1988	35	R1	Ⅱ			↔	点検				↔	点検				14,638		
長坂橋	2級	米・長坂線	99.8	1994	29	R2	Ⅱ			↔	点検				橋台：ひび割れ補修等	点検						
下堀川橋	その他	米作田4号線	44.2	1999	24	R2	Ⅱ			↔	点検				点検							

凡例：↔ 対策を実施すべき時期を示す。

↔下は補修部材及び補修内容を示す。

橋 梁 名	道 路 種 別	路 線 名	橋 長 (m)	架 設 年 度	供 用 年 数	最 新 点 検 年 次	最 新 点 検 結 果	対 策 の 内 容 ・ 時 期										合 計 (千円)
								R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	
岩下橋	その他	岩下3号線	16	2011	12	R2	Ⅱ		点検					点検				
下羽太橋	その他	下羽太中1号線	27.9	1986	37	R1	Ⅱ		点検				点検					
狼山合橋	その他	狼山合線	15.5	1999	24	R2	Ⅱ		点検					点検				
0201	2級	米・長坂線	3.2	1987	36	R3	Ⅱ				点検				点検			
0104	1級	原中大平線	11.8	1965	58	R2	Ⅱ		点検					点検				
0101	1級	米高助線	4.5	1967	56	R3	Ⅱ				点検				点検			
0105	1級	原中大平線	3.4	1986	37	R4	Ⅱ				点検					点検		
原中橋	その他	小田倉小学校線	12.08	1986	37	R1	Ⅱ		点検				点検					
4009	その他	折口中線	9.5	1987	36	R3	Ⅱ				点検				点検			
4025	その他	一の又台上線	2.5	1987	36	R3	Ⅱ				点検				点検			
天狗橋	その他	追原4号線	6.3	2000	23	R3	Ⅱ				点検				点検			
0206	2級	上芝原・台上線	8.45	1973	50	R3	Ⅱ				点検				点検			
4034	その他	伯母沢馬場坂線	5	1987	36	R3	Ⅱ				点検				点検			
1003	その他	中久保線	6	1987	36	R3	Ⅱ				点検				点検			
紅葉橋	その他	川谷蒲日向4号線	21.76	1999	24	R2	Ⅱ			点検				点検				
縞石橋	その他	奥甲子線	31.6	1976	47	R2	Ⅱ		点検					点検				
にらみ岩橋	その他	奥甲子線	4.6	1969	54	R3	Ⅱ				点検				点検			
3007	その他	上堀川1号線	5.06	1973	50	R3	Ⅱ				点検				点検			
4033	その他	大清水1号線	3.5	1987	36	R4	Ⅱ					点検				点検		
4036	その他	芝原13号線	4.8	1990	33	R4	Ⅱ					点検				点検		
5029	その他	西原山神裏線	5.5	2008	15	R3	Ⅱ				点検				点検			
5028	その他	西原山神裏線	2.5	2012	11	R4	Ⅱ					点検				点検		
5011	その他	高速側道7号線	2.2	1965	58	R3	Ⅱ				点検				点検			
片見橋	その他	奥甲子線	4.5	1969	54	R3	Ⅱ				点検				点検			
3009	その他	中山前上畑線	4.5	1973	50	R3	Ⅱ				点検				点検			
4010	その他	折口中線	4.88	1987	36	R3	Ⅱ				点検				点検			
1009	その他	米作田3号線	4.8	1987	36	R3	Ⅱ				点検				点検			
4023	その他	芝原6号線	4.6	1987	36	R4	Ⅱ					点検				点検		
4019	その他	芝原中線	4.5	1987	36	R3	Ⅱ				点検				点検			
5027	その他	大平6号線	4.2	1987	36	R3	Ⅱ				点検				点検			
2002	その他	小萱線	3.6	1987	36	R3	Ⅱ				点検				点検			
4026	その他	上野原馬場坂線	2.1	1993	30	R4	Ⅱ					点検				点検		
2014	その他	シナシ1号線	4.5	2008	15	R3	Ⅱ				点検				点検			
1006	その他	長坂ノ尻2号線	3	1965	58	R4	Ⅱ					点検				点検		
1005	その他	長坂ノ尻2号線	3	1965	58	R4	Ⅱ					点検				点検		
3008	その他	上堀川向井原線	4.84	1973	50	R3	Ⅱ				点検				点検			
5030	その他	西原山神裏線	5.9	2008	15	R3	Ⅱ				点検				点検			
3003	その他	間の原米村線	4.8	1987	36	R3	Ⅱ				点検				点検			
4022	その他	芝原5号線	2.9	1987	36	R4	Ⅱ					点検				点検		
4035	その他	一の又6号線	3.9	1989	34	R4	Ⅱ					点検				点検		
5017	その他	小田倉向原10号線	2.6	1987	36	R3	Ⅱ				点検				点検			
5002	その他	西原後原線	3	1993	30	R3	Ⅱ				点検				点検			
4015	その他	折口原12号線	2.4	2012	11	R4	Ⅱ					点検				点検		
5018	その他	小田倉原4号線	3.6	1987	36	R4	Ⅱ					点検				点検		

凡例：↔ 対策を実施すべき時期を示す。

↔下は補修部材及び補修内容を示す。

橋 梁 名	道 路 種 別	路 線 名	橋 長 (m)	架 設 年 度	供 用 年 数	最 新 点 検 年 次	最 新 点 検 結 果	対 策 の 内 容 ・ 時 期									合 計 (千円)	
								R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13		R14
5005	その他	山下圃場3号線	2.5	1987	36	R3	Ⅱ			点検					点検			
4007	その他	黒森3号線	4	1987	36	R4	Ⅱ				点検					点検		
芝原1号橋	2級	上芝原・台上線	22.8	1998	25	R1	Ⅰ		点検				点検					
向原1号橋	その他	小田倉向原1号線	17.1	1999	24	R2	Ⅰ			点検				点検				
一ツ橋	その他	鶴生桑ノ木3号線	16.6	1983	40	R2	Ⅰ			点検				点検				
下羽太2号橋	その他	下羽太ほ場4号線	28.7	1989	34	R2	Ⅰ			点検				点検				
横川橋	その他	川谷横川3号線	24.7	1997	26	R2	Ⅰ			点検				点検				
0102	1級	高助・追原・四ツ門線	8.45	1982	41	R3	Ⅱ			点検					点検			
七曲橋	その他	石切場追原線	7.3	1999	24	R3	Ⅰ			点検					点検			
2004	その他	追原3号線	6.1	1985	38	R3	Ⅰ			点検					点検			
井戸尻橋	その他	上新田圃場3号線	12	2000	23	R1	Ⅰ		点検				点検					
上新田橋	その他	上新田圃場2号線	10.67	2000	23	R2	Ⅰ			点検				点検				
4016	その他	山下中島線	3.5	1982	41	R4	Ⅱ				点検					点検		
2001	その他	小萱線	3.6	1987	36	R3	Ⅱ			点検					点検			
5003	その他	西原後原線	2.7	1987	36	R4	Ⅱ				点検					点検		
4012	その他	カロヲト1号線	2.3	1987	36	R4	Ⅱ				点検					点検		
ほ場1号橋	その他	下羽太ほ場3号線	3	1992	31	R3	Ⅱ			点検					点検			
4013	その他	田土ヶ入5号線	2.1	1987	36	R4	Ⅱ				点検					点検		
5026	その他	上新田中久保線	2.6	2002	21	R4	Ⅱ				点検					点検		
2012	その他	鶴生桑ノ木田2号線	2.1	1987	36	R4	Ⅱ				点検					点検		
5006	その他	山下圃場4号線	2.5	1987	36	R3	Ⅰ			点検					点検			
5010	その他	原中7号線	2.6	1987	36	R4	Ⅱ				点検					点検		
向原2号橋	その他	小田倉向原10号線	19	2009	14	R2	Ⅰ			点検				点検				
3006	その他	高速側道2号線	5.6	1973	50	R3	Ⅰ			点検					点検		5,053	
4006	その他	黒森3号線	12.45	2000	23	R4	Ⅱ				点検					点検		
4005	その他	黒森2号線	10.35	2000	23	R3	Ⅱ			点検					点検			
3010	その他	杉山前1号線	2	1987	36	R4	Ⅰ				点検					点検		
3001	その他	熊倉鶴ヶ井線	4	1987	36	R3	Ⅰ			点検					点検			
4032	その他	上野原稗返線	2.2	1987	36	R4	Ⅰ				点検					点検		
大富橋	その他	奥甲子線	2.2	1962	61	R3	Ⅰ			点検					点検			
合 計 (千円)								174,586	89,407	57,478	49,974	49,904	49,663	49,193	49,193	47,422	49,033	

優先順位一覧 制約0.50億円

	：健全度E(5)	：健全度F(2)
	：健全度D(4)	：健全度A(1)
	：健全度C(3)	

番号	橋梁名	諸元							重要度評価指標							総合評価指標				部材健全度		優先 順位指 標 (A+100-B)	優先 順位	優先 順位 区分	管理 区分	管理区分内訳										余寿命 (年)	今後50年補修費用						
		橋長 (m)	径間数	上部工 使用材 料	上部工 構造形式	車道 幅員 (m)	竣工年	経過年	緊急 輸送路	道路 等級	緊急 輸送路	橋長	車道 幅員	道路 区分	バス 路線	交差 条件	重要度 合計 (A)	耐荷性	災害 抵抗性	走行 安全性	平均 (B)					部材種別	健全 度 ランク	緊急 輸送路	道路 区分	バス 路線	該当数	評価 ①	交差 条件	評価 ②	橋長 5m未満		カルバー ト 特異形式	評価 ③	今後5年 (百万円)	残り (百万円)	合計 (百万円)		
0002	西郷高原大橋	265.00	13	PC橋	プレテンT桁	11.00	1995	28	指定なし	1級	0	15	10	10	10	15	60	0.0	10.0	35.0	15.0	主部材	D(4)	145.0	1	5	S	-	-	○	○	2	A	○	S	-	-	B	-	174.6	470.6	645.2	
0013	大清水橋	41.20	3	PC橋	ラーメン橋	3.00	1973	50	指定なし	その他	0	5	5	0	0	10	20	5.0	0.0	40.0	15.0	下部工	D(4)	105.0	2	5	S	-	-	-	0	C	○	S	-	-	B	-	89.4	0.0	89.4		
0023	幸せ橋	28.60	1	PC橋	ボステンT桁	7.50	1974	49	指定なし	1級	0	5	10	10	0	0	25	0.0	0.0	0.0	0.0	主部材	D(4)	125.0	3	6	A	-	○	-	1	B	-	-	-	-	B	50以上	57.5	14.0	71.5		
0014	中島橋	40.70	1	鋼溶接橋	1桁(不明)	8.00	1984	39	指定なし	その他	0	5	10	0	10	0	25	0.0	10.0	35.0	15.0	主部材	D(4)	110.0	4	6	A	-	-	○	1	B	-	-	-	-	B	50以上	41.5	8.5	50.0		
0016	一の又橋	34.20	1	鋼溶接橋	1桁(不明)	7.00	1985	38	指定なし	その他	0	5	10	0	0	0	15	0.0	10.0	35.0	15.0	主部材	D(4)	100.0	5	6	A	-	-	-	0	C	-	-	-	-	B	50以上	0.0	42.6	42.6		
0080	0202-1	3.90	1	RC橋	RC 中実床版	7.50	1987	36	指定なし	2級	0	0	10	5	10	0	25	45.0	35.0	25.0	35.0	床版	D(4)	90.0	6	6	A	-	-	○	○	2	A	-	-	○	-	C	50以上	4.4	7.7	12.1	
0021	鶴の子橋	29.00	1	鋼溶接橋	1桁(不明)	8.00	1990	33	指定なし	その他	0	5	10	0	0	0	15	55.0	15.0	50.0	40.0	下部工	D(4)	75.0	7	6	A	-	-	-	0	C	-	-	-	-	B	50以上	22.6	31.3	53.9		
0047	剣桂橋	8.10	1	RC橋	RC T桁	4.60	1935	88	指定なし	その他	0	0	5	0	0	0	5	5.0	0.0	40.0	15.0	下部工	D(4)	90.0	8	7	B	-	-	-	0	C	-	-	-	-	B	0	6.3	0.0	6.3		
0115	4024	2.00	1	RC橋	RC 中実床版	5.80	1987	36	指定なし	その他	0	0	5	0	10	0	15	55.0	15.0	50.0	40.0	下部工	D(4)	75.0	9	7	B	-	-	○	1	B	-	-	○	-	C	3	8.9	0.0	8.9		
0095	5009	2.70	1	RC橋	RC 中実床版	5.20	1987	36	指定なし	その他	0	0	5	0	0	0	5	40.0	10.0	25.0	25.0	床版	D(4)	80.0	10	8	C	-	-	-	0	C	-	-	○	-	C	50以上	2.3	26.9	29.2		
0050	4021	2.90	1	RC橋	RC溝橋(BOXカルバート)	5.20	1987	36	指定なし	その他	0	0	5	0	0	0	5	45.0	35.0	25.0	35.0	床版	D(4)	70.0	11	8	C	-	-	-	0	C	-	-	○	○	C	50以上	4.0	30.6	34.6		
0091	1008	3.00	1	RC橋	RC桁橋(その他)	3.00	1987	36	指定なし	その他	0	0	5	0	0	0	5	15.0	20.0	85.0	40.0	主部材	D(4)	65.0	12	8	C	-	-	-	0	C	-	-	○	-	C	50以上	1.7	25.3	27.1		
0006	追原橋	71.20	3	鋼溶接橋	H形鋼(合成)	7.00	1981	42	指定なし	2級	0	10	10	5	10	0	35	25.0	25.0	65.0	38.3	主部材	C(3)	96.7	13(17)	10	A	-	-	○	○	2	A	-	-	-	-	B	50以上	0.0	149.7	149.7	
0001	紅葉大橋	210.00	3	PC橋	ラーメン橋	7.00	1997	26	指定なし	その他	0	15	10	0	0	0	25	40.0	30.0	90.0	53.3	主部材	C(3)	71.7	14(13)	9	S	-	-	-	0	C	-	-	-	-	B	-	0.0	391.0	391.0		
0005	雪割橋	138.50	3	鋼溶接橋	アーチ橋	6.50	2020	3	指定なし	2級	0	15	10	5	10	0	40	70.0	90.0	50.0	70.0	床版	C(3)	70.0	15(14)	9	S	-	○	○	○	2	A	-	-	-	-	B	-	0.0	0.0	0.0	
0017	滝の入橋	32.80	1	鋼溶接橋	1桁(不明)	5.00	1971	52	指定なし	1級	0	5	5	10	0	0	20	25.0	25.0	65.0	38.3	主部材	C(3)	81.7	16(19)	10	A	-	-	○	-	1	B	-	-	-	-	B	48	0.0	223.8	223.8	
0038	真名子橋	15.20	1	PC橋	プレテン中空床版	4.20	2000	23	指定なし	その他	0	5	5	0	0	0	10	75.0	45.0	75.0	65.0	下部工	C(3)	45.0	17(42)	10	A	-	-	-	0	C	-	-	-	-	B	50以上	0.0	33.3	33.3		
0010	蓬隈橋	47.60	2	鋼溶接橋	1桁(不明)	7.00	1973	50	指定なし	1級	0	5	10	10	10	0	35	10.0	20.0	40.0	23.3	主部材	C(3)	111.7	18(15)	10	A	-	-	○	○	○	2	A	-	-	-	-	B	50以上	0.0	531.1	531.1
0008	真鶴橋	68.20	2	PC橋	ボステンT桁	7.50	1990	33	指定なし	1級	0	10	10	10	10	0	40	25.0	25.0	65.0	38.3	主部材	C(3)	101.7	19(16)	10	A	-	○	○	○	2	A	-	-	-	-	B	50以上	0.0	0.0	0.0	
0025	中羽太橋	28.30	1	PC橋	プレテンT桁	4.00	2000	23	指定なし	その他	0	5	5	0	0	0	10	10.0	20.0	40.0	23.3	主部材	C(3)	86.7	20(17)	10	A	-	-	-	0	C	-	-	-	-	B	50以上	0.0	33.0	33.0		
0007	下熊倉橋	69.00	2	PC橋	ボステンT桁	7.50	2005	18	指定なし	その他	0	10	10	0	10	0	30	30.0	50.0	65.0	48.3	主部材	C(3)	81.7	21(18)	10	A	-	-	○	1	B	-	-	-	-	B	50以上	0.0	0.0	0.0		
0048	0103	7.54	1	RC橋	RC溝橋(BOXカルバート)	7.00	1987	36	指定なし	1級	0	0	10	10	10	0	30	60.0	40.0	50.0	50.0	床版	C(3)	80.0	22(19)	10	A	-	-	○	○	○	2	A	-	-	-	○	C	50以上	0.0	0.0	0.0
0020	谷津田橋歩道橋	30.70	1	鋼溶接橋	H形鋼(不明)	0.00	1992	31	指定なし	1級	0	5	0	10	10	0	25	40.0	55.0	45.0	46.7	床版	C(3)	78.3	23(20)	10	A	-	-	○	○	○	2	A	-	-	-	-	B	50以上	0.0	0.0	0.0
0024	谷津田橋	28.60	1	PC橋	ボステンT桁	8.00	1974	49	指定なし	1級	0	5	10	10	10</																												

優先順位一覧 制約0.50億円

：健全度E(5)

：健全度D(4)

：健全度C(3)

：健全度B(2)

：健全度A(1)

番号	橋梁名	諸元								重要度評価指標								総合評価指標				部材健全度		優先 順位指 標 (A+100-B)	優先 順位	優先 順位 区分	管理 区分	管理区分内訳											余寿命 (年)	今後50年補修費用		
		橋長 (m)	径間数	上部工 使用材 料	上部工 構造形式	車道 幅員 (m)	竣工年	経過年	緊急 輸送路	道路 等級	緊急 輸送路	橋長	車道 幅員	道路 区分	バス 路線	交差 条件	重要度 合計 (A)	耐荷性	災害 抵抗性	走行 安全性	平均 (B)	部材種別	健全 度 ランク					緊急 輸送路	道路 区分	バス 路線	該当数	評価 ①	交差 条件	評価 ②	橋長 5m未満	カルバー ト 特異形式	評価 ③	今後5年 (百万円)		残り (百万円)	合計 (百万円)	
0075	5018	3.60	1	RC橋	RC 中実床版	4.04	1987	36	指定なし	その他	0	0	5	0	0	0	5	90.0	50.0	100.0	80.0	下部工	C(3)	25.0	86	経	C	-	-	-	0	C	-	-	○	-	C	50以上	0.0	0.8	0.8	
0101	5005	2.50	1	RC橋	RC溝橋 (BOXカルバート)	2.50	1987	36	指定なし	その他	0	0	0	0	0	0	0	90.0	50.0	100.0	80.0	下部工	C(3)	20.0	87	経	C	-	-	-	0	C	-	-	○	○	C	50以上	0.0	1.0	1.0	
0078	4007	4.00	1	RC橋	RC 中実床版	2.50	1987	36	指定なし	その他	0	0	0	0	0	0	0	90.0	50.0	100.0	80.0	下部工	C(3)	20.0	88	経	C	-	-	-	0	C	-	-	○	-	C	50以上	0.0	0.0	0.0	
0028	芝原1号橋	22.80	1	PC橋	PC 床版橋その他	8.00	1998	25	指定なし	2級	0	5	10	5	0	0	20	95.0	75.0	100.0	90.0	下部工	B(2)	30.0	89	経	A	-	○	-	1	B	-	-	-	-	B	50以上	0.0	0.0	0.0	
0032	向原1号橋	17.10	1	PC橋	PC 床版橋その他	7.50	1999	24	指定なし	その他	0	5	10	0	0	0	15	75.0	90.0	95.0	86.7	主部材	B(2)	28.3	90	経	A	-	-	-	0	C	-	-	-	-	B	50以上	0.0	0.0	0.0	
0033	一ツ橋	16.60	1	PC橋	プレテンT桁	4.00	1983	40	指定なし	その他	0	5	5	0	0	0	10	75.0	90.0	95.0	86.7	主部材	B(2)	23.3	91	経	A	-	-	-	0	C	-	-	-	-	B	50以上	0.0	0.0	0.0	
0022	下羽太2号橋	28.70	1	PC橋	ボスデンT桁	4.00	1989	34	指定なし	その他	0	5	5	0	0	0	10	75.0	90.0	95.0	86.7	主部材	B(2)	23.3	92	経	A	-	-	-	0	C	-	-	-	-	B	50以上	0.0	0.0	0.0	
0027	横川橋	24.70	1	PC橋	プレテンT桁	4.00	1997	26	指定なし	その他	0	5	5	0	0	0	10	70.0	65.0	95.0	76.7	主部材	B(2)	33.3	93	経	B	-	-	-	0	C	-	-	-	-	B	34	0.0	0.0	0.0	
0045	0102	8.45	1	PC橋	PC 床版橋その他	3.30	1982	41	指定なし	1級	0	0	5	10	0	0	15	95.0	75.0	100.0	90.0	下部工	B(2)	25.0	94	経	B	-	○	-	1	B	-	-	-	-	B	19	0.0	0.0	0.0	
0049	七曲橋	7.30	1	PC橋	PC 床版橋その他	9.00	1999	24	指定なし	その他	0	0	10	0	0	0	10	95.0	75.0	100.0	90.0	下部工	B(2)	20.0	95	経	B	-	-	-	0	C	-	-	-	-	B	36	0.0	0.0	0.0	
0052	2004	6.10	1	RC橋	RC 中実床版	4.00	1985	38	指定なし	その他	0	0	5	0	0	0	5	95.0	75.0	100.0	90.0	下部工	B(2)	15.0	96	経	B	-	-	-	0	C	-	-	-	-	B	22	0.0	0.0	0.0	
0041	井戸尻橋	12.00	1	PC橋	PC 床版橋その他	5.00	2000	23	指定なし	その他	0	0	5	0	0	0	5	95.0	75.0	100.0	90.0	下部工	B(2)	15.0	97	経	B	-	-	-	0	C	-	-	-	-	B	37	0.0	0.0	0.0	
0043	上新田橋	10.67	1	PC橋	PC 床版橋その他	5.00	2000	23	指定なし	その他	0	0	5	0	0	0	5	95.0	75.0	100.0	90.0	下部工	B(2)	15.0	98	経	B	-	-	-	0	C	-	-	-	-	B	37	0.0	0.0	0.0	
0086	4016	3.50	1	RC橋	RC溝橋 (BOXカルバート)	5.40	1982	41	指定なし	その他	0	0	5	0	0	0	5	80.0	70.0	75.0	75.0	床版	B(2)	30.0	99	経	C	-	-	-	0	C	-	-	○	○	C	50以上	0.0	0.0	0.0	
0084	2001	3.60	1	RC橋	RC 中実床版	4.00	1987	36	指定なし	その他	0	0	5	0	0	0	5	80.0	70.0	75.0	75.0	床版	B(2)	30.0	100	経	C	-	-	-	0	C	-	-	○	-	C	50以上	0.0	0.4	0.4	
0096	5003	2.70	1	RC橋	RC溝橋 (BOXカルバート)	4.70	1987	36	指定なし	その他	0	0	5	0	0	0	5	80.0	70.0	75.0	75.0	床版	B(2)	30.0	101	経	C	-	-	-	0	C	-	-	○	○	C	50以上	0.0	0.0	0.0	
0107	4012	2.30	1	RC橋	RC 中実床版	4.10	1987	36	指定なし	その他	0	0	5	0	0	0	5	80.0	70.0	75.0	75.0	床版	B(2)	30.0	102	経	C	-	-	-	0	C	-	-	○	-	C	50以上	0.0	0.0	0.0	
0090	ほ場1号橋	3.00	1	RC橋	RC溝橋 (BOXカルバート)	5.40	1992	31	指定なし	その他	0	0	5	0	0	0	5	80.0	70.0	75.0	75.0	床版	B(2)	30.0	103	経	C	-	-	-	0	C	-	-	○	○	C	50以上	0.0	0.0	0.0	
0112	4013	2.10	1	RC橋	RC 中実床版	1.40	1987	36	指定なし	その他	0	0	0	0	0	0	0	80.0	70.0	75.0	75.0	床版	B(2)	25.0	104	経	C	-	-	-	0	C	-	-	○	-	C	50以上	0.0	2.6	2.6	
0098	5026	2.60	1	RC橋	RC溝橋 (BOXカルバート)	7.00	2002	21	指定なし	その他	0	0	10	0	0	0	10	85.0	95.0	75.0	85.0	床版	B(2)	25.0	105	経	C	-	-	-	0	C	-	-	○	○	C	50以上	0.0	0.0	0.0	
0113	2012	2.10	1	RC橋	RC溝橋 (BOXカルバート)	4.60	1987	36	指定なし	その他	0	0	5	0	0	0	5	85.0	95.0	75.0	85.0	床版	B(2)	20.0	106	経	C	-	-	-	0	C	-	-	○	○	C	50以上	0.0	0.0	0.0	
0100	5006	2.50	1	RC橋	RC溝橋 (BOXカルバート)	3.00	1987	36	指定なし	その他	0	0	5	0	0	0	5	95.0	75.0	100.0	90.0	下部工	B(2)	15.0	107	経	C	-	-	-	0	C	-	-	○	○	C	50以上	0.0	1.0	1.0	
0099	5010	2.60	1	RC橋	RC溝橋 (BOXカルバート)	2.90	1987	36	指定なし	その他	0	0	0	0	0	0	0	85.0	95.0	75.0	85.0	床版	B(2)	15.0	108	経	C	-	-	-	0	C	-	-	○	○	C	50以上	0.0	0.0	0.0	
0031	向原2号橋	19.00	1	PC橋	PC 床版橋その他	7.00	2009	14	指定なし	その他	0	5	10	0	0	0	15	100.0	100.0	100.0	100.0	主部材	A(1)	15.0	109	経	A	-	-	-	0	C	-	-	-	-	B	50以上	0.0	0.0	0.0	
0055	3006	5.60	1	RC橋	RC 中実床版	4.50	1973	50	指定なし	その他	0	0	5	0	0	0	5	100.0	100.0	100.0	100.0	主部材	A(1)	5.0	110	経	B	-	-	-	0	C	-	-	-	-	B	10	5.1	0.0	5.1	
0077	4006	12.45	1	PC橋	プレテン中空床版	3.60	2000	23	指定なし	その他	0	0	5	0	0	0	5	100.0	100.0	100.0	100.0	主部材	A(1)	5.0	111	経	B	-	-	-	0	C	-	-	-	-	B	37	0.0	0.0	0.0	
0059	4005	10.35	1	PC橋	PC 床版橋その他	4.60	2000	23	指定なし	その他	0	0	5	0	0	0	5	100.0	100.0	100.0	100.0	主部材	A(1)	5.0	112	経	B	-	-	-	0	C	-	-	-	-	B	37	0.0	0.0	0.0	
0116	3010	2.00	1	RC橋	RC溝橋 (BOXカルバート)	8.10	1987	36	指定なし	その他	0	0	10	0	0	0	10	100.0	100.0	100.0	100.0	床版	A(1)	10.0	113	経	C	-	-	-	0	C	-	-	○	○	C	50以上	0.0	0.0	0.0	
0076	3001	4.00	1	RC橋	RC 中実床版	5.10	1987	36	指定なし	その他	0	0	5	0	0	0	5	100.0	100.0	100.0	100.0	主部材	A(1)	5.0	114(115)	経	C	-	-	-	0	C	-	-	○	-	C	50以上	0.0	0.0	0.0	
0110	4032	2.20	1	RC橋	RC溝橋 (BOXカルバート)	4.50	1987	36	指定なし	その他	0	0	5	0	0	0	5	100.0	100.0	100.0	100.0	床版	A(1)	5.0	115(116)	経	C	-	-	-	0	C	-	-	○	○	C	50以上	0.0	0.0	0.0	
0108	大富橋	2.20	1	RC橋	RC 中実床版	4.00	1962	61	指定なし	その他	0	0	5	0	0	0	5	100.0	100.0	100.0	100.0	主部材	A(1)	5.0	116(114)	経	C	-	-	-	0	C	-	-	○	-	C	50以上	0.0	0.0	0.0	